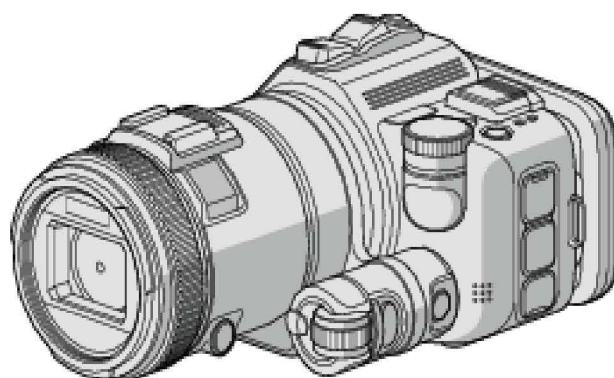


ビデオカメラ

ユーザーガイド

GC-LJ25B



本製品は、スポーツセンシング社製無線ユニットを接続してお使いいただけます。
詳しくはスポーツセンシングの取扱説明書をご覧ください。

もくじ

困ったときは

正常に動作しないときは	4
バッテリー	5
撮影	5
SD カード	6
再生	6
編集/保存	7
コンピューター	7
画面/映像	8
その他	8
エラー表示	9

準備する

付属品を取り付ける	12
バッテリーを充電する	13
グリップベルトを調節する	14
SD カードを入れる	15
本機で使える SD カードの種類	15
タッチパネルの使いかた	17
タッチパネルの調整をする	17
液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき	18
時計を合わせる	20
時計を合わせ直すときは	21
表示言語を変更する	22
本機の構えかた	23
液晶モニターの角度調節	23
ハンドグリップ、三脚の取り付け方	23
海外で使うときは	24
海外で充電するとき	24
時差のある地域で使うとき	25
旅行先がサマータイムのとき	26

撮影する

動画をオートで撮影する	27
動画撮影中に静止画を撮影する	29
静止画をオートで撮影する	30
ズームを使う	33
連写する	34
設定を変えて撮影する	34
場面(被写体)に合わせて撮影する	35
被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先 AE / AF)	36
手動で調節して撮影する	37
手動でピントを合わせる	39
フォーカスアシストを使ってピントを合わせる	40
ホワイトバランスを設定する	41
接写で撮影する	42
白飛びした場所を確認する(ゼブラ機能)	43
手ぶれを補正して撮影する	43
撮影中の動画にタグを入れる	44
スローモーションを撮影する(高速撮影)	45
微速度撮影をする(タイムラプス撮影)	46
動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)	47
記念写真を撮影する(セルフタイマー)	48
動画に撮影日時を記録して撮影する	50
残量時間を確認する	51

再生する

動画を再生する	54
通常再生	55
静止画を再生する	58
スライドショーで再生する	60
目的の映像を撮影日から探す	60
テレビにつないで見る	61
HDMI 端子とつないで見る	62
AV 端子とつないで見る	63

編集する

不要な映像を削除する	65
表示(再生)しているファイルを削除する	65
選んで削除する	65
映像を保護する	66
表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する	66
選んで保護する/選んで保護を解除する	66
動画の 1 シーンを静止画にする	67
動画を必要な部分だけにする(トリミング)	68

保存する

ビデオデッキにつないで VHS テープにダビングする	69
Windows パソコンに保存する	70
ファイルとフォルダの一覧について	71
Mac コンピューターに保存する	72

無線 LAN (Wi-Fi) を使う

無線 LAN で出来ること	73
無線 LAN についてのご注意	74
直接接続して遠隔操作する(ダイレクト接続)	75
アクセスポイント経由で遠隔操作する(アクセスポイント接続)	77
設定を変更する	
パスワードを設定する(ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)	81
強制グループオーナーを設定する(ダイレクト接続)	82
HTTP ポートを変更する(ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)	82
接続するアクセスポイントをビデオカメラに登録する(アクセスポイント)	83
アクセスポイント(無線 LAN ルーター) 毎に、カメラの LAN 設定を変更するには	87
ビデオカメラの MAC アドレスを確認する	88
ネットワーク設定をパスワードで保護する	88
無線 LAN 設定を初期化する	89
うまく動作しないときは	90
無線 LAN 仕様	91

設定メニュー

メニュー操作のしかた	92
トップメニューの操作のしかた	92
撮影設定メニュー(動画)	93
お楽しみ撮影メニュー(動画)	97
撮影設定メニュー(静止画)	98
お楽しみ撮影メニュー(静止画)	101
再生設定メニュー(動画)	102
編集メニュー(動画)	103
再生設定メニュー(静止画)	104
編集メニュー(静止画)	105
セットアップ(動画/静止画共通)	106
出力設定(動画/静止画共通)	108
メディア設定(動画/静止画共通)	109

各部の名前

本体前面	110
本体後面	110
本体底面	111
本体内側	111

液晶画面の表示内容

撮影共通	112
動画撮影	112
静止画撮影	113
動画再生	113
静止画再生	113

日ごろのお手入れ

本体	114
レンズ・液晶画面	114

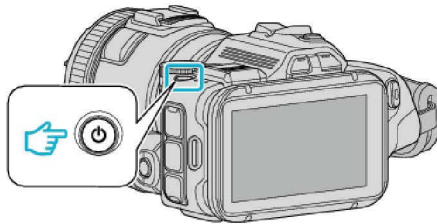
仕様

カメラ本体	115
端子	115
動画 (MP4)	115
静止画	116
AC アダプター	116
バッテリー (BN-VF815)	116

正常に動作しないときは

電源を切る

- 1 電源ボタンを押して、電源を切る



- 2 電源(バッテリーと AC アダプター)をいったん取りはずし、再度接続して電源ボタンを押します(リセット完了)

バッテリー

バッテリー使用時に電源が入らない

バッテリーを充電してください。
"バッテリーを充電する" (p. 13)
端子が汚れていないか確認してください。
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
当社製以外のバッテリーをご使用の場合はお問い合わせください。

充電しても使用時間が短い

繰り返し充電することでバッテリーの性能が劣化します。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーの充電ができない

バッテリーが満充電されていると、ランプは点滅しません。
端子が汚れていないか確認してください。
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
純正品以外の AC アダプターを使用すると本機が破損する可能性があります。純正品の AC アダプターを使用してください。

バッテリー残量が正しく表示されない

AC アダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。
高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがあります。

撮影

インテリジェントオートで正しく撮影できない

複数の光源がある場所など、撮影状況によっては、インテリジェントオートで明るさやフォーカスが正しく調整できないことがあります。このようなときは、マニュアルで調整してください。
"手動でピントを合わせる" (p. 39)

自動的に撮影が停止した

仕様上、12 時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。(撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。)

静止画の連写速度が遅い

連写を続けると、連写速度が低下します。
使用する SD カードや撮影条件によって、連写速度が低下します。

自動でピントが合わない

暗いところや明暗差の少ないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスをお使いください。
"手動でピントを合わせる" (p. 39)
レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭いてください。

ズームができない

静止画の撮影では、デジタルズームは使えません。
微速度撮影中は、ズーム操作ができません。(また、写真同時撮影、および手ぶれ補正もできません)
デジタルズームをするには、メニューの "ズーム倍率" を設定してください。
"ズーム倍率" (p. 95)

SD カード

SD カードが入らない

SD カードの入れる向きを間違えないようにしてください。
"SD カードを入れる" (☞ p. 15)

SD カードに保存できない

ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは、メディア設定の "SD フォーマット" で SD カードをフォーマット (初期化) する必要があります。
"SD フォーマット" (☞ p. 109)

再生

音や映像が途切れる

シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。

音が出ない

共通メニューの "操作音" を "入" にしてください。
"操作音" (☞ p. 106)

同じ映像が長く止まって見える

高速対応 (Class6 以上) の SD カードをお使いください。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 15)
SD カードの端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。
"メディア設定" メニューの "SD フォーマット" を実行してください。(データはすべて消えます。)
"SD フォーマット" (☞ p. 109)

映像がカクカクした動きに見える

高速対応 (Class6 以上) の SD カードをお使いください。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 15)
SD カードの端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。
メディア設定メニューの "SD フォーマット" を実行してください。(データはすべて消えます。)
"SD フォーマット" (☞ p. 109)

撮影したはずの動画や静止画が一覧表示されない

日付検索を解除してください。
"目的の映像を撮影日から探す" (☞ p. 60)
"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 59)

テレビに正常に表示されない

ケーブルを抜き差ししてください。
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 62)
本機の電源を入れ直してください。

テレビに縦長に映る

"メディア設定" メニューの "ビデオ出力" を "4:3" に変更してください。
"ビデオ出力" (☞ p. 108)
テレビ側で画面を調整してください。

テレビに表示される画面が小さい

"メディア設定" メニューの "ビデオ出力" を "16:9" に変更してください。
"ビデオ出力" (☞ p. 108)

HDMI ミニケーブルでテレビに接続したとき、映像や音声が正常に出力されない

お使いのテレビの機種によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
① HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。
② 本機の電源を入れ直してください。
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 62)

編集/保存

画像を削除できない

保護(プロテクト)されている映像(動画/静止画)は削除できません。プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 66)

コンピューター

パソコンの HDD に画像を保存できない

バックアップする前に、パソコンのハードディスク(HDD)に十分な空き容量があることを確認してください。

パソコンが SDXC カードを認識しない

パソコンの OS(基本ソフト)をアップデートしてください。

"パソコンが SDXC カードを認識しないとき" (☞ p. 16)

画面/映像

画面が見えにくい

直射日光下など周囲が明るい見えにくくなります。

画面に明るい光の帯が現れる

本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにしてください。(明るい光源が画面周辺にあると光の帯が現れることがあります。故障ではありません。)

被写体が暗い

背景が明るくて被写体が暗いときは、逆光補正を使ってください。
"ちょっとレベルアップ！「逆光補正」" (☞ p. 11)
メニューの "ライト" を使ってください。
シーンセレクトの "ナイトアイ" を使ってください。
"場面(被写体)に合わせて撮影する" (☞ p. 35)
メニューの "感度アップ" を使ってください。
"手動で調節して撮影する" (☞ p. 37)
撮影メニューの "明るさ補正" を「+」側に設定してください。
"手動で調節して撮影する" (☞ p. 37)
シャッタースピードを遅くしてください。(遅くしすぎると被写体がぶれることがあります)
絞りの値を小さくしてください。

被写体が明るい

逆光補正を不使用にしてください。
"ちょっとレベルアップ！「逆光補正」" (☞ p. 11)
撮影メニューの "明るさ補正" を「-」側に設定してください。
"手動で調節して撮影する" (☞ p. 37)
シャッタースピードを早くしてください。
絞りの値を大きくしてください。

画面に小さな明るい点や黒い点が出る

液晶画面には 99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の小さな光る点(赤、青、緑)や黒い点が出る場合があります。故障ではありません。また、これらは記録されません。

その他

タッチパネルのボタンがきかない

タッチパネルのボタンは、指でタッチしてください。
爪や手袋などでは、正しく反応しないことがあります。
修理を依頼する前に、撮影したデータを保存してください。
①USB ケーブルを使ってパソコンと接続してください。
"接続機器を選択"メニューが表示されます。
②START/STOP ボタンを 2 秒以上押してください。
"パソコンで見る"が表示されます。
画面が切り換わったら、パソコン側で操作してください。

画質が粗い

デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。

本機が熱くなる

故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)熱すぎると感じたときは、ご使用を中止してください。

表示言語が変わった

違う言語に設定したテレビと HDMI ミニケーブルで接続するときに発生する場合があります。
"テレビとの HDMI 連動機能を使う" (☞ p. 63)

HDMI ミニケーブルでテレビに接続したとき、正常な映像表示や音が出ない

お使いのテレビの機種によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
①HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。
② 本機の電源を入れ直してください。
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 62)

HDMI CEC が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない

HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。"HDMI 機器制御"を "切" にしてください。
"HDMI 機器制御" (☞ p. 108)

動画モードと静止画モードの切り換えや電源の入/切などが遅い

動画や静止画をパソコンなどに保存し、本機から削除することをおすすめします。(撮影したファイルが本機に多数あると、本機の反応が遅くなります。)

エラー表示が出たり、正常に動作しない

本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

電源/充電ランプとアクセスランプが点滅して操作できない

電源を切ったあと、電源 (バッテリーと AC アダプター) をいったん取りはずし、再度接続したあとに電源ボタンを押して電源を入れてください。解決しない場合は、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

免責事項

・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

エラー表示

時計を合わせてください

AC アダプターを取り付けて、24 時間以上充電してから、時計を設定してください。(設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。)
"時計を合わせる" (p. 20)

通信エラー

USB ケーブルを接続し直してください。
本機を接続している機器の電源と、本機の電源を入れ直してください。
バッテリーをもう一度付け直してください。

カードエラー

カードが対応しているか確認してください。
"本機で使える SD カードの種類" (p. 15)
本機の電源を入れ直してください。
AC アダプターとバッテリーを取りはずし、SD カードを入れ直してください。
SD カードの端子の汚れを取り除いてください。
上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "SD フォーマット" を実行してください。(データはすべて消えます。)
"SD フォーマット" (p. 109)

フォーマットされていません

"OK" を選び、"フォーマットしますか?" の画面で "はい" を選んでください。

カードへ記録できませんでした

本機の電源を入れ直してください。

現在記録できません

動画の撮影をいったん停止してから、静止画を撮影してください。(動画の撮影中に SD カードを抜き差しすると、静止画を撮影できません。)

再生に失敗しました

SD カードを入れ直してください。
"SD カードを入れる" (p. 15)
SD カードの端子の汚れを取り除いてください。
SD カードを入れてから、電源を入れてください。
振動や衝撃を与えないようにしてください。

管理ファイルを更新しています。

前回の記録が正常に終了しなかったので、記録ファイルを自動的に修復します。
(修復に失敗した場合は再生できないことがあります。)

未対応のシーンです

本機で記録したファイルをお使いください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)

未対応のファイルです

本機で記録したファイルをお使いください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)

プロテクトがかかっています

メニューの "編集" の "プロテクト／解除" で解除してください。
"映像を保護する" (p. 66)

カードがライトプロテクトされています

SD カードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチを解除してください。

空き容量がありません

ファイルを削除するか、パソコンなどに移してください。
新しい SD カードに交換してください。

記録できる管理番号の上限に達しました

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。
(バックアップします。)
② メディア設定メニューの "SD フォーマット" で、"ファイル + 管理番号" を選んでください。
(SD カード内のデータは、すべて消えます。)
"SD フォーマット" (p. 109)

シーン数が制限を超えています

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。
(バックアップします。)
② メディア設定メニューの "SD フォーマット" で、"ファイル + 管理番号" を選んでください。
(SD カード内のデータは、すべて消えます。)
"SD フォーマット" (p. 109)

フォルダ数が制限を超えています

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。
(バックアップします。)
② メディア設定メニューの "SD フォーマット" で、"ファイル + 管理番号" を選んでください。
(SD カード内のデータは、すべて消えます。)
"SD フォーマット" (p. 109)

ファイル数が制限を超えています

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。
(バックアップします。)
② メディア設定メニューの "SD フォーマット" で、"ファイル + 管理番号" を選んでください。
(SD カード内のデータは、すべて消えます。)
"SD フォーマット" (p. 109)

作業用領域が不足しているため 処理を中断しました

記録を中止しました

本機の電源を入れ直してください。
振動や衝撃を与えないようにしてください。

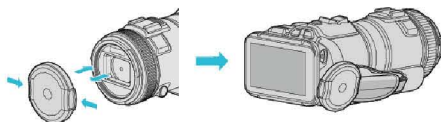
カメラの温度が上がりました カメラの電源を切って お待ちください

本機の電源を切り、冷ましてから電源を入れてください。

付属品を取り付ける

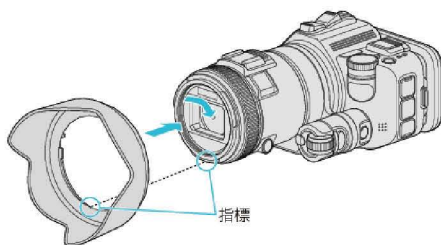
レンズキャップを取り付ける

カメラを使わないときや持ち運びするときは、レンズキャップを取り付けてください。
撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに取り付けてください。



レンズフードを取り付ける

日差しが強い屋外などで撮影するときは、レンズフードを取り付けることをおすすめします。
レンズフードと本体の指標(●印)を合わせ、回転させて取り付けてください。

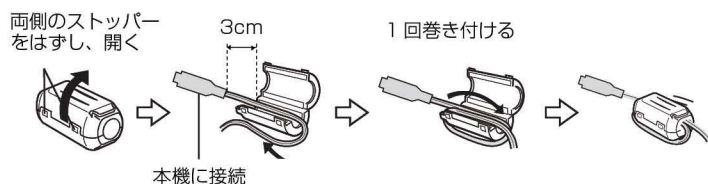


ご注意:

- フラッシュやライトを使用するときはレンズフードをはずしてください。
ケラレ(画面周辺が暗くなったり、影になる)が発生する場合があります。

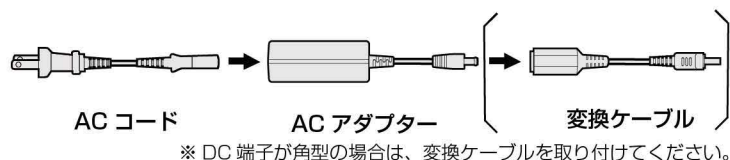
コアフィルターを取り付ける

USB ケーブルをお使いになるときは、付属のコアフィルターを取り付けてください。本機に接続したときに発生するノイズを低減できます。



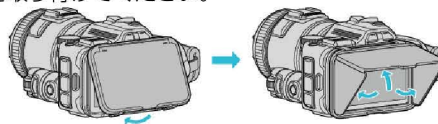
AC コード、AC アダプターを接続する

本機でのバッテリー充電や、本機に電力を供給するためには、以下のよう
に AC コード / AC アダプターの接続が必要です。



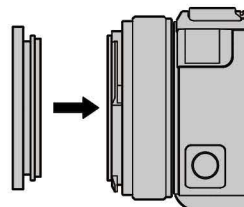
モニターフードを取り付ける

日光などが入り込み、モニター画面が見えにくいときにモニターフードを取り付けてください。
液晶モニター上部の溝に、モニターフードの上側のツメを取り付けてから、下側のツメを取り付けてください。

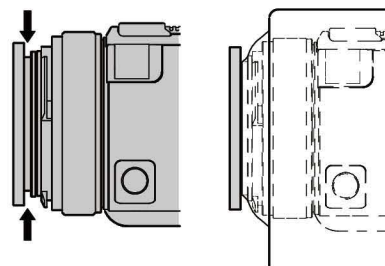


レインカバーを取り付ける

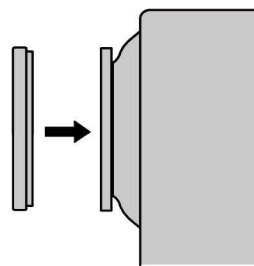
① 付属のステップアップリングをレンズに取り付ける



② 付属のレインカバーをカメラにかぶせ、レインカバーの穴をステップアップリングのみぞにはめ込む



③ 付属のレンズフィルターをステップアップリングに取り付ける



ご注意:

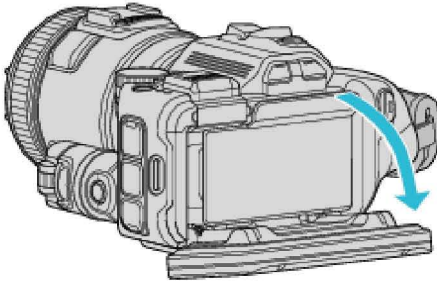
- レインカバーは防水ではありません。弱い雨や水しぶきを防ぐために使用してください。
- カメラからレインカバーを取り外す前に、カバーに付いた水滴をふき取ってください。カメラに水滴が付いたときは、すみやかに乾いた布などでふき取ってください。
- カメラ内部の温度上昇を防ぐために、直射日光が当たる状態でレインカバーを使用しないでください。
※ 内部温度が上昇すると、安全のためカメラの電源が自動的に切れます。

バッテリーを充電する

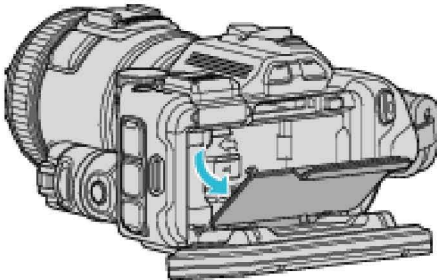
お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなってきたら、バッテリーを充電しましょう。

ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

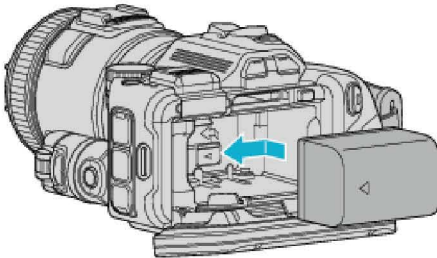
1 液晶モニターを開ける



2 バッテリーカバーを開ける

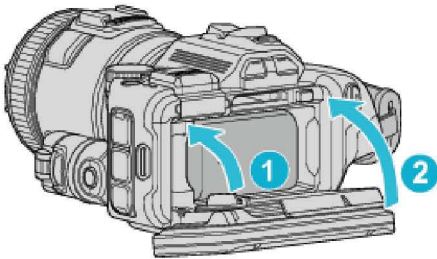


3 バッテリーを取り付ける

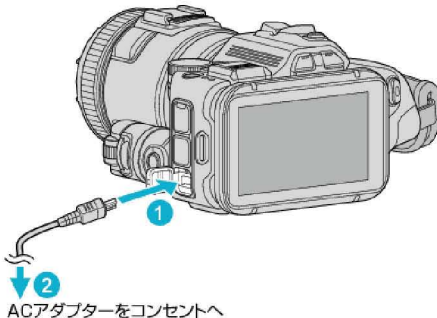


- バッテリーを右側に寄せてから押し込み、「カチッ」と音がするまで左にスライドします。

4 バッテリーカバーを閉じ、液晶モニターを閉じる



5 DC 端子に AC アダプターをつなぎ、コンセントをつなぐ



- 充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると消灯します。(早く点滅、または2回つづけて点滅する場合は、下の「ご注意」をご覧ください。)

警告

- バッテリーの入れる向きを間違えないようにしてください。本機やバッテリーが破損する原因になります。

ご注意：

必ず同梱、または当社が推奨するバッテリーをお使いください。

- 同梱、または当社が推奨するバッテリー以外をご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約2時間10分(付属バッテリーの場合)
25℃で使用したときの時間です。室温10℃～35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。充電できない場合、充電ランプがゆっくりした周期で2回点滅してお知らせします。その際は、バッテリーをしばらく放置して、もう一度充電をおこなってください。
- バッテリー充電中に不具合(過電圧など)が生じた場合、または、同梱品や当社の推奨品以外のバッテリーを充電しようとした場合、充電が停止します。この場合、充電ランプが速く点滅してお知らせします。
- バックなどに入れて持ち歩くと、電源ボタンが押されバッテリーを消費することがありますので、大事な撮影のときはバッテリーを抜いて、持ち歩くことをおすすめします。

付属の AC アダプターを使用してください。

- 付属品以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となります。
- AC アダプターを接続して、撮影や再生ができます。(撮影中や再生中はバッテリーを充電できません。)
長時間使用するときは、バッテリーを取りはずしてください。バッテリーをつけたままにすると、バッテリー性能が低下することがあります。

電源が入っていると充電できません。

- バッテリーを充電するときは、電源を切ってください。

バッテリー(充電式電池)について：

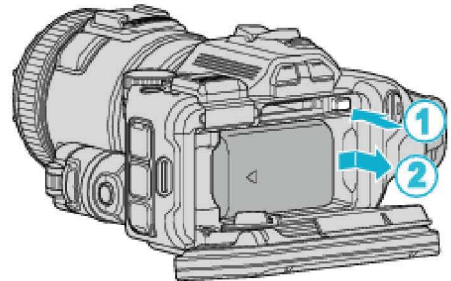
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせないでください)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 取りはずしたバッテリーは、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。
- 長期間使わないときは、30%程度充電された状態(■)で保存してください。また、半年に1度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態(■)で保存してください。

メモ：

- 室内で長時間撮影するときには、AC アダプターをつないで撮影することもできます。

バッテリーの取りはずしかた

取りはずすときは、バッテリーロックレバー(①)を押しながら、バッテリーをスライドさせて取りはずしてください。



バッテリーの充電時間の目安(AC アダプター使用時)

バッテリー	充電時間
BN-VF815	2 時間 10 分

- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

※ 25℃で使用したときの時間です。室温10℃～35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。

"撮影時間の目安(バッテリー使用時)" (p. 53)

準備する

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

- お問い合わせ: 一般社団法人 JBRC

<http://www.jbrc.net/hp/>

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

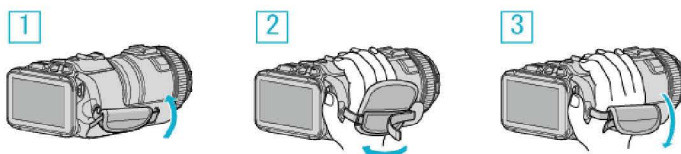


Li-ion

バッテリーの購入について

- バッテリーの購入は当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

グリップベルトを調節する



- 1 パッドをめくる
- 2 ベルトの長さを調節する
- 3 パッドをしめる

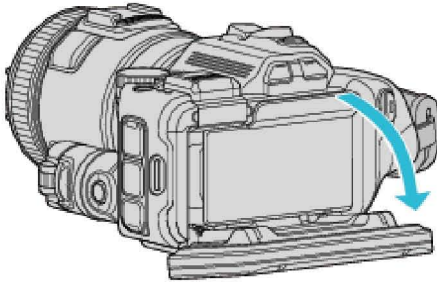
ご注意:

- グリップベルトはしっかりとしめてください。
ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- Wi-Fi アンテナはグリップベルトの内側にあります。
グリップベルトを調節するときは、Wi-Fi アンテナを引き出さないでください。

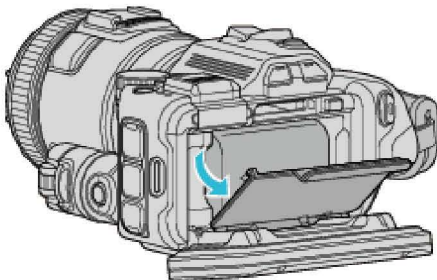
SD カードを入れる

撮影する前に市販の SD カードを入れてください。
 "本機で使える SD カードの種類" (p. 15)
 "動画の撮影可能時間の目安" (p. 53)

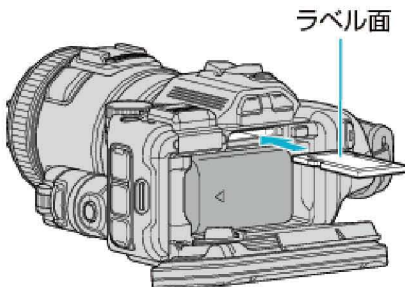
- 1 電源を切る
- 2 液晶モニターを開ける



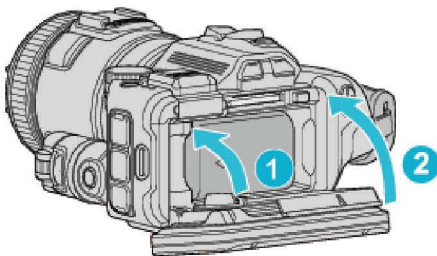
- 3 バッテリーカバーを開ける



- 4 SD カードを入れる



- 5 バッテリーカバーを閉じ、液晶モニターを閉じる



警告

- SD カードの入れる向きを間違えないようにしてください。本機や SD カードが破損する原因になります。
- SD カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。
- SD カード挿入時、端子の金属部分に触れないように注意してください。

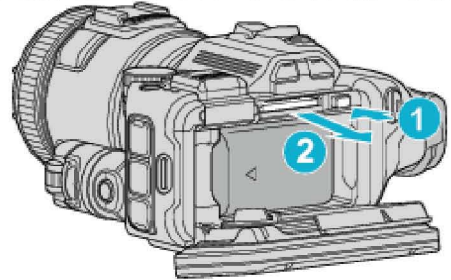
メモ：

- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。

- SD カードに記録するには、メディアの設定が必要です。
 - ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは、メディア設定の "SD フォーマット" で SD カードをフォーマット (初期化) する必要があります。
- "SD フォーマット" (p. 109)

カードの取り出しかた

SD カードを一度押し込んでから、まっすぐに引き抜いてください。



本機で使える SD カードの種類

以下の SD カードがご利用可能です。
 下記の推奨メーカー製の SD カードで動作確認しています。

- パナソニック (Panasonic)
- 東芝 (TOSHIBA)
- サンディスク (SanDisk)

SD カード



- 256 MB～2 GB に対応しています。
- 動画撮影するときは、Class6 以上対応の SD カード (2 GB) をお使いください。

SDHC カード



- 動画撮影するときは、Class6 以上対応の SDHC カード (4～32 GB) をお使いください。

SDXC カード



- 動画撮影するときは、Class 6 以上の SDXC カード(最大 128 GB)を使用してください。

メモ：

- 上記以外のメーカーの SD カード(SDHC/SDXC カードを含む)では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- すべての SD カードの動作を保証するものではありません。SD カードの仕様変更などにより使用できない場合があります。
- "動画画質"で"MP4 1080p"を選択した場合、Class6 以上の SDHC/SDXC カードをお使いください。
- Class 6 とは、読み書き時のデータ転送速度が最低で 6 MB/s であることを保証するものです。
- Class 10 対応の SDHC/SDXC カードも使用できます。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- SDHC/SDXC UHS-I カードについて
UHS スピードクラスには対応していませんが、通常の SDHC、SDXC カードとしてご使用になれます。

パソコンが SDXC カードを認識しないとき

パソコンの OS(基本ソフト)をアップデートしてください。

Windows XP	• OS のバージョンが SP2 以上になっていることを確認してください。 • 次の更新プログラム(KB955704)を下記の URL からダウンロードして、インストールします。 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=1CBE3906-DDD1-4CA2-B727-C2DFF5E30F61&displaylang=ja
Windows Vista	• OS のバージョンが SP1 以上になっていることを確認してください。 • 次の更新プログラム(KB975823)を下記の URL からダウンロードして、インストールします。 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=2d1abe01-0942-4f8a-abb2-2ad529de00a1 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=7d54c53f-017c-4ea5-ae08-34c3452ba315
Windows 7	次の更新プログラム(KB976422)を下記の URL からダウンロードして、インストールします。 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3ee91fc2-a9bc-4ee1-aca3-2a9aff5915ea 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=73f766dd-7127-4445-b860-47084587155f
Windows 8 / 8.1	Microsoft Corporation のサイトでご確認ください。
Mac OS X 10.4 Tiger / Mac OS X 10.5 Leopard	対応していません。
Mac OS X 10.6 Snow Leopard	OS バージョン 10.6.5 以上にアップデートしてください。

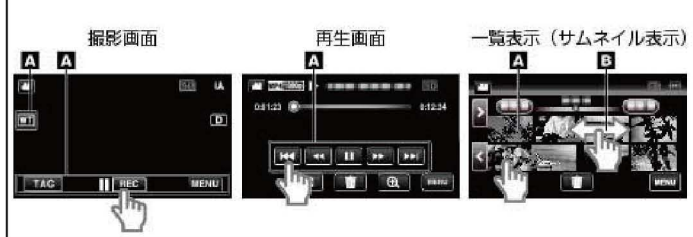
タッチパネルの使いかた

選択しているモードで使用できる操作ボタン、サムネイル、メニューがタッチパネルに表示されます。

- タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の2つの操作があります。以下は操作例です。

A タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。

B タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。



メモ：

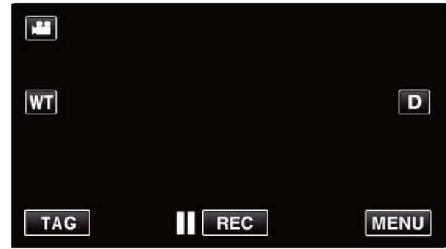
- 本機のタッチパネルは圧力を検出するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 先の鋭い物で操作しないでください。
- 2箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、「タッチパネル調整」を行ってください。(SDカードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしないでください。)

"タッチパネルの調整をする" (p. 17)

タッチパネルの調整をする

タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置を調整します。

1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする

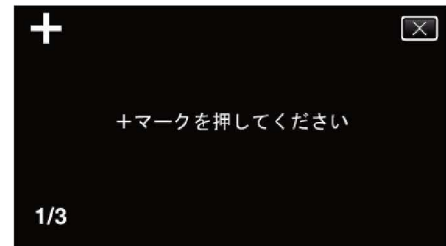


3 "タッチパネル調整"をタッチする



- タッチパネルの調整画面が表示されます。

4 "+"をタッチする(合計 3 回)



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。
- "+"マーク以外の場所をタッチすると、エラーが検出されます。必ず、"+"マーク部分をタッチしてください。

5 調整された位置を確認するため、再度 "+"をタッチする(合計 3 回)



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。

6 "OK"をタッチする



- 設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

ご注意：

- タッチパネルの調整中(手順 4~5)は、"+"マーク以外の場所をタッチしないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる可能性があります。

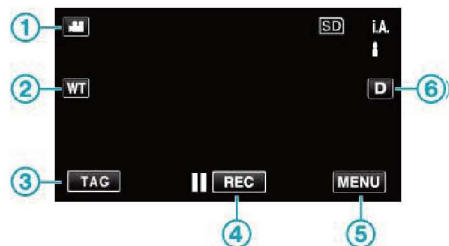
メモ：

- SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。
- 先の鋭い物で押したり、強く押ししたりしないでください。

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。

撮影画面(動画／静止画)



1 動画/静止画(動画/静止画)切替ボタン

- 動画モードと静止画モードを切り換えます。

2 メモリーズームボタン

"ズームを使う" (p. 33)

3 タグボタン (動画のみ)

撮影中にタグを記録します。記録したタグを使って、スポーツセンシング社製 PC アプリケーションでかんたんに頭出しができます。

4 録画開始/停止ボタン

- REC: 動画撮影開始ボタン
- REC: 動画撮影停止ボタン

5 メニューボタン

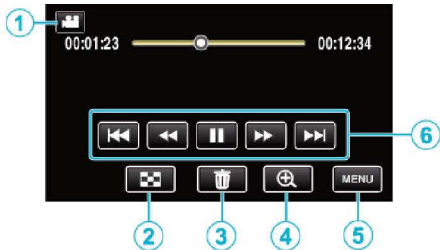
"メニュー操作のしかた" (p. 92)

6 画面表示切替ボタン

ボタンをタッチするたびにフル表示(DP)とシンプル表示(D)を切り換えることができます。

- シンプル表示: 一部の表示は約3秒間で消えます。
- フル表示: すべてを表示させることができます。画面表示切替ボタンがDからDPに変わります。
- 電源を切るとフル表示(DP)になります。

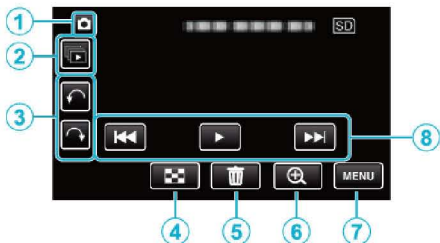
再生画面(動画)



- 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

- 1 動画/静止画切替ボタン
● 動画モードと静止画モードを切り換えます。
- 2 一覧表示(サムネイル表示)ボタン
"動画再生の操作ボタン" (p. 56)
- 3 削除ボタン
"表示(再生)しているファイルを削除する" (p. 65)
- 4 再生ズームボタン
● 再生中の動画を拡大します。
- 5 メニューボタン
"メニュー操作のしかた" (p. 92)
- 6 操作ボタン
"動画再生の操作ボタン" (p. 56)

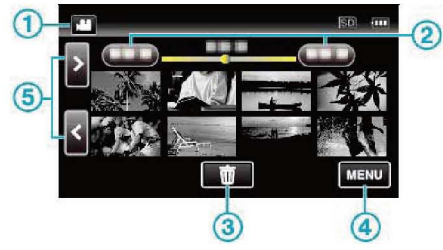
再生画面(静止画)



- 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

- 1 動画/静止画切替ボタン
● 動画モードと静止画モードを切り換えます。
- 2 グループ再生ボタン
連写した静止画を連続再生します。
"静止画を再生する" (p. 58)
- 3 画像回転ボタン
静止画を 90°回転します。(時計回り/反時計回り)
- 4 一覧表示(サムネイル表示)ボタン
"静止画再生の操作ボタン" (p. 59)
- 5 削除ボタン
"表示(再生)しているファイルを削除する" (p. 65)
- 6 再生ズームボタン
● 再生中の静止画を拡大します。
- 7 メニューボタン
"メニュー操作のしかた" (p. 92)
- 8 操作ボタン
"静止画再生の操作ボタン" (p. 59)

一覧表示(サムネイル表示)画面



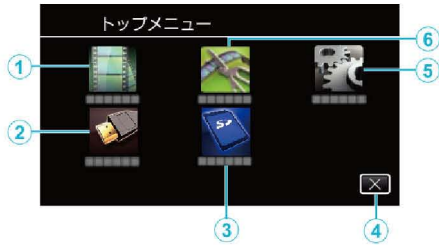
- 1 動画/静止画切替ボタン
● 動画モードと静止画モードを切り換えます。
- 2 日付ボタン
"動画再生の操作ボタン" (p. 56)
"静止画再生の操作ボタン" (p. 59)
- 3 削除ボタン
"選んで削除する" (p. 65)
- 4 メニューボタン
"メニュー操作のしかた" (p. 92)
- 5 ページ送り/戻しボタン
"動画再生の操作ボタン" (p. 56)
"静止画再生の操作ボタン" (p. 59)

メニュー画面(撮影モード)



- 1 無線 LAN (Wi-Fi) メニュー
"無線 LAN でできること" (p. 73)
- 2 セットアップメニュー
"セットアップ(動画/静止画共通)" (p. 106)
"メディア設定(動画/静止画共通)" (p. 109)
- 3 出力設定メニュー
"出力設定(動画/静止画共通)" (p. 108)
- 4 インフォボタン
"残量時間を確認する" (p. 51)
- 5 終了ボタン
メニューを終了します。
- 6 メディア設定メニュー
"メディア設定(動画/静止画共通)" (p. 109)
- 7 お楽しみ撮影メニュー
"お楽しみ撮影メニュー(動画)" (p. 97)
- 8 撮影設定メニュー
"撮影設定メニュー(動画)" (p. 93)

メニュー画面(再生モード)



1 再生設定メニュー

"再生設定メニュー(動画)" (p. 102)
"再生設定メニュー(静止画)" (p. 104)

2 出力設定メニュー

"出力設定(動画/静止画共通)" (p. 108)

3 メディア設定メニュー

"メディア設定(動画/静止画共通)" (p. 109)

4 終了ボタン

メニューを終了します。

5 セットアップメニュー

"セットアップ(動画/静止画共通)" (p. 106)

6 編集メニュー

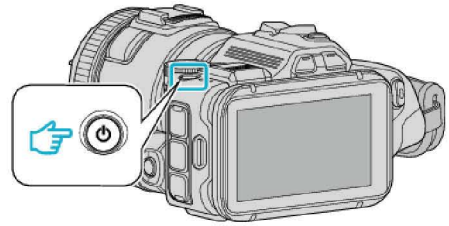
"編集メニュー(動画)" (p. 103)
"編集メニュー(静止画)" (p. 105)

時計を合わせる

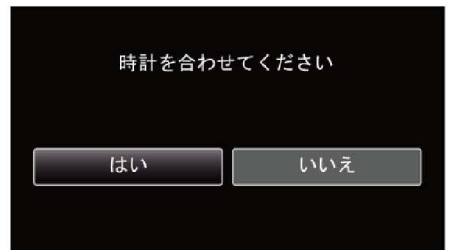
ご購入後初めて電源を入れたときや、長期間使用しなかったとき、または時計を合わせていないときに電源を入れると"時計を合わせてください"と表示されます。

撮影前に時計を合わせておきましょう。

1 電源を入れる



2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"をタッチする



3 日時を設定する



- "日付"、"時計"の各項目をタッチすると、"∧"と"∨"が表示されます。
- ∧ または ∨ をタッチして "日付"、"時計"を合わせます。
- この手順を繰り返して "日付"、"時計"を入力します。

4 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする



5 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- くまたは>をタッチして、都市名を選んでください。

例)日本国内の場合、都市名は「東京」

メモ:

- 一度設定したあとに、時計を合わせ直すこともできます。
- "時計を合わせ直すときは" (p. 21)
- 海外で使うときは、その地域の時間に合わせて撮影できます。
- "時差のある地域で使うとき" (p. 25)

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください"が表示されます。
本機内蔵の時計用電池を充電するために、A C アダプターなどの電源を
24 時間以上接続してから、時計を設定してください。

時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ" から時計を合わせてください。

1 "MENU" をタッチする



2 "セットアップ" をタッチする



3 "時計合わせ" をタッチする



- へ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "日時設定" をタッチする



5 日時を設定する



- "日付"、"時計"の各項目をタッチすると、"↑"と"↓"が表示されます。
- ↑または↓をタッチして"日付"、"時計"を合わせます。
- この手順を繰り返して"日付"、"時計"を入力します。

6 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする



7 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする

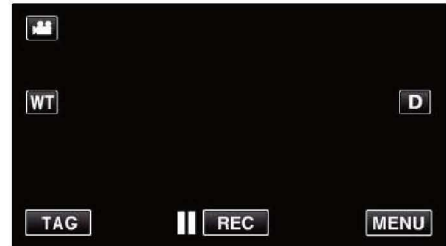


- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
 - <または>をタッチして、都市名を選んでください。
- 例)日本国内の場合、都市名は「東京」

表示言語を変更する

メニューなどで表示する言語を設定します。

1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする



3 "LANG. / 言語"をタッチする



- ↑または↓をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 変更する言語をタッチする



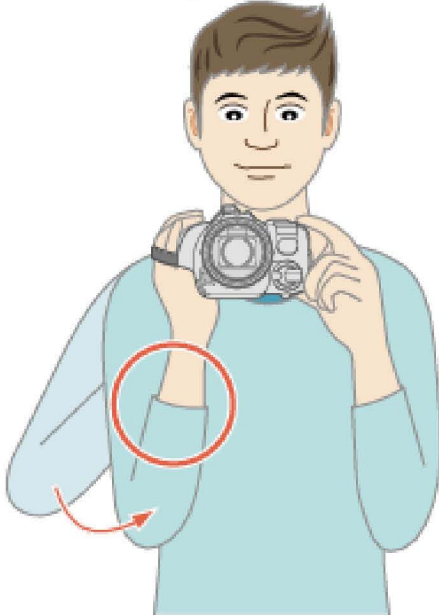
- ↑または↓をタッチすると、画面をスクロールできます。

メモ：

- 日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)/韓国語に対応しています。

本機の構えかた

手ぶれしないように、しっかりと脇をしめて構えましょう。



ご注意：

- 持ち運びの際は、本機を落とさぬよう十分にご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が十分にご注意ください。

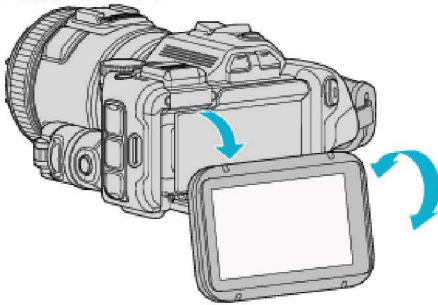
メモ：

- 手ぶれがひどい時は、手ぶれ補正を使用しましょう。

"手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)

液晶モニターの角度調節

カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するときなどに、液晶モニターの角度を変えて撮影できます。



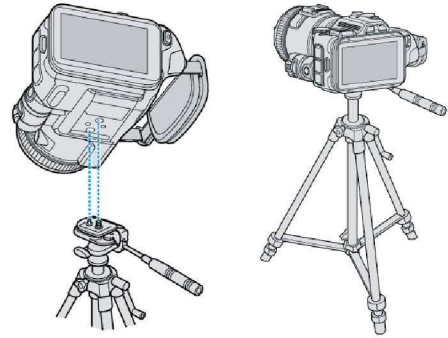
ご注意：

- 液晶モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず動かしてください。
- カメラを使わないときや持ち運ぶときは、液晶モニターを戻してください。

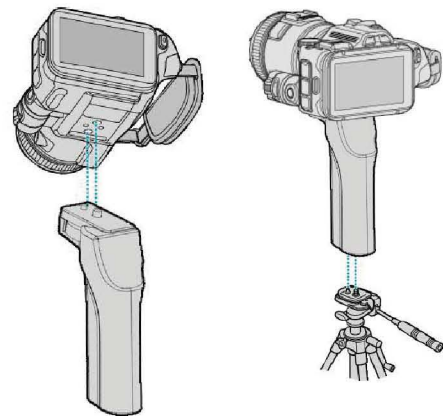
ハンドグリップ、三脚の取り付け方

本機、ハンドグリップ、三脚（または一脚）を相互に取り付けることができます。手振れを防ぎたいときや、定点撮影するときに便利です。

● 本機と三脚の取り付け



● 本機、ハンドグリップ、三脚の取り付け



- 落下を防ぐために、取り付け前に本機、ハンドグリップ、三脚の取り付け用ネジ穴と、位置決め穴の位置をよく確認し、ネジを回してしっかりと取り付けてください。

ご注意：

- 落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚（または一脚）の説明書をご覧ください。

メモ：

- 手ぶれしやすい状況（暗いところやズームが望遠側のとき）で撮影するときは、三脚や一脚を使って撮影することをおすすめします。
- 三脚を使って撮影するときは、手ぶれ補正を“切”にしてください。

"手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)

海外で使うときは

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。
充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。
"海外で充電するとき" (🔌 p. 24)
"時計合わせ"の "地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
"時差のある地域で使うとき" (🕒 p. 25)
"時計合わせ"の "サマータイム設定"で、サマータイムを "入"にすると、時間が 1 時間進みます。
"旅行先がサマータイムのとき" (🕒 p. 26)

海外で充電するとき

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。
充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。

A	B	BF	C	O
				

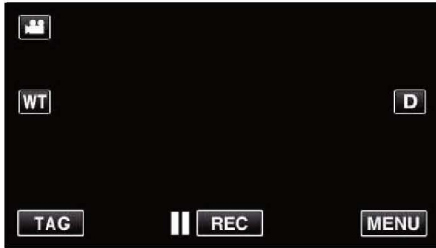
北米		ヨーロッパ		オセアニア		中近東	
アメリカ合衆国	A	アイスランド	C	オーストラリア	O	イスラエル	C
カナダ	A	アイルランド	C	グアム	A	イラン	C
メキシコ	A	イギリス	B,BF	タヒチ	C	クウェート	B,C
アジア		イタリア	C	トンガ	O	ヨルダン	B,BF
		オーストラリア	C	ニュージーランド	O		
日本	A	オランダ	C	フィジー	O	アフリカ	
インド	B,C,BF	カナリア諸島	C	中南米		アルジェリア	A,B,BF,C
インドネシア	C	ギリシャ	C		エジプト	B,BF,C	
シンガポール	B,BF	スイス	C	アルゼンチン	O	ギニア	C
スリランカ	B,C,BF	スウェーデン	C	コロンビア	A	ケニア	B,C
タイ	A,BF,C	スペイン	A,C	ジャマイカ	A	ザンビア	B,BF
大韓民国	A,C	デンマーク	C	チリ	B,C	タンザニア	B,BF
中華人民共和国		ドイツ	C	ハイチ	A	南アフリカ共和国	
	A,B,BF,C,O	ノルウェー	C	パナマ	A		B,C,BF
ネパール	C	ハンガリー	C	バハマ	A	モザンビーク	C
パキスタン	B,C	フィンランド	C	プエルトリコ	A	モロッコ	C
バングラデシュ	C	フランス	C	ブラジル	A,C		
フィリピン	A,BF,C	ベルギー	C	ベネズエラ	A		
ベトナム	A,C	ポーランド	B,C	ペルー	A,C		
香港特別行政区	B,BF	ポルトガル	B,C				
マカオ特別行政区	B,C	ルーマニア	C				
マレーシア	B,BF,C						

時差のある地域で使うとき

"時計合わせ"の"地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。

旅行などから戻ったときは、ご使用になる地域を元に戻してください。

1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする



3 "時計合わせ"をタッチする

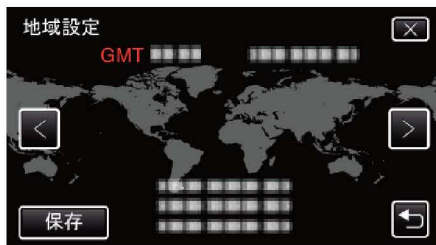


- へまたは✓をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "地域設定"をタッチする



5 旅行先の地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- くまたは>をタッチして、都市名を選んでください。

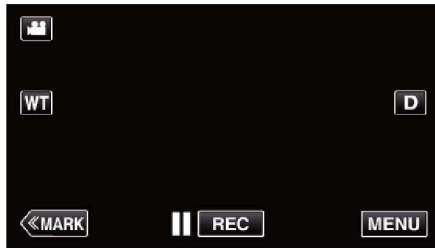
メモ: _____

- "地域設定"をすると、時差を補正した時刻に変更されます。
自国へ戻ったときも、最初に設定した地域を選び直すことで、時計の設定が元に戻ります。

旅行先がサマータイムのとき

"時計合わせ"の"サマータイム設定"を"入"にすると、時間が1時間進みます。

- 1 "MENU"をタッチする



- 2 "セットアップ"をタッチする



- 3 "時計合わせ"をタッチする

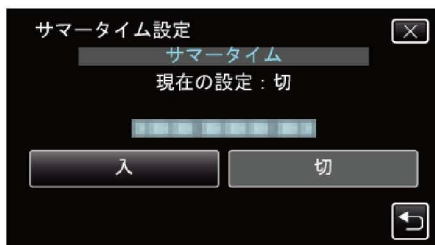


- 入またはVをタッチすると、画面をスクロールできます。

- 4 "サマータイム設定"をタッチする



- 5 "入"をタッチする



メモ: _____

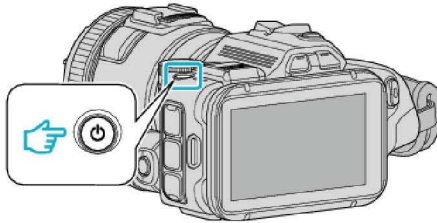
- サマータイムとは？
夏の一定期間の時計を1時間進める制度をサマータイムと呼びます。
日照時間を有効に使うため、主に欧米諸国で採用されています。
- 旅行から戻ったときは、サマータイム設定を元に戻してください。

動画をオートで撮影する

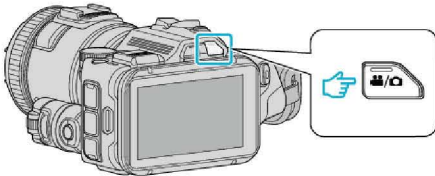
インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

- 人物の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。
- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

1 電源を入れる

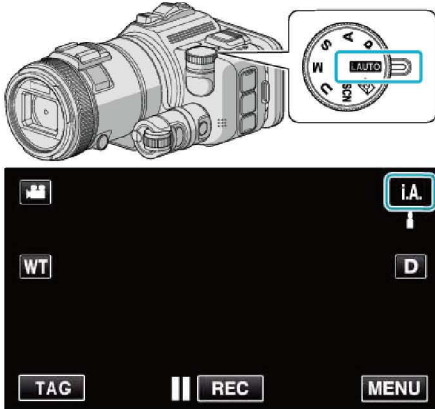


2 動画モードを選ぶ

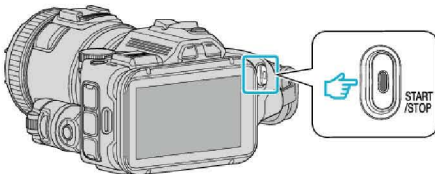


- 液晶画面のアイコンが動画モードになります。

3 撮影ダイヤルを "i.AUTO" に合わせる

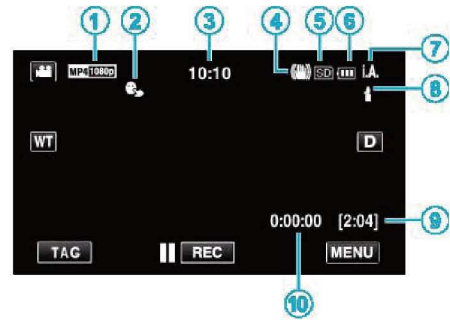


4 START/STOP ボタンを押して、撮影を開始する



- もう一度押すと撮影を停止します。
- 一部の表示は約3秒間で消えます。D ボタンを使って表示を切り換えられます。

動画撮影時の画面表示



	表示アイコン	説明
①	動画画質	撮影メニューの "動画画質" で設定している画質のアイコンを表示します。 "動画画質" (p. 95)
②	タッチ優先 AE / A F	"タッチ優先 AE / A F" の設定を表示します。お買い上げ時は "顔追尾" に設定されています。 "被写体を自動追尾して撮影する (タッチ優先 AE / A F)" (p. 36)
③	時刻	現在時刻を表示します。 "時計を合わせる" (p. 20)
④	手ぶれ補正	手振れ補正設定を表示します。 "手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)
⑤	SD カード	SD カードが挿入されているかどうかを表示します。
⑥	バッテリー残量	使用状態におけるバッテリー残量の目安を表示します。
⑦	撮影モード	現在の撮影モードが表示されます。
⑧	インテリジェントオートの設定シーン	インテリジェントオートで自動的に設定されるシーンをあらわします。複数のシーンが設定される場合があります。
⑨	撮影可能時間	動画撮影が可能な残り時間を表示します。 "残量時間を確認する" (p. 51)
⑩	シーンカウンター (撮影した時間)	現在撮影している動画の撮影経過時間を表示します。

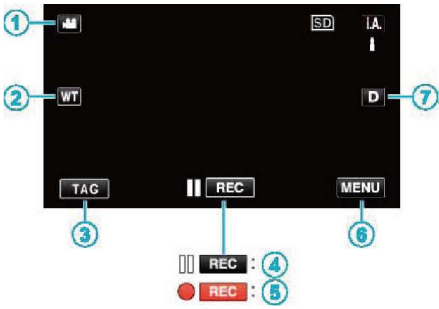
撮影する

■ インテリジェントオートのシーン

表示アイコン	説明
	肌を美しく撮影します。
	人物を自然に表現できるように撮影します。
	グループを撮影する際に、最適な設定で撮ります。
	笑顔の人物をきれいに撮ります。
	近接の被写体にピントを合わせて撮影します。
	遠景にピントが合い、シャープで色鮮やかな映像になります。
	薄暗い場所で、全体的にノイズを抑えて撮影します。
	全体的にノイズを抑え、夜景を忠実に表現するように撮影します。
	雪原や砂浜などかなり明るい屋外でも、なるべく色飛びせずに撮影します。
	スポットライトがあたった被写体を、なるべく色飛びせずに撮影します。
	木々の緑を鮮明に撮影します。
	夕暮れの様子を自然な色で撮影します。
	逆光で被写体が暗く写ることを防ぎます。
	色彩の鮮やかさを強調して撮ります。
	日中の屋外で、自然な色になるように撮影します。
	寒色系照明の室内において、自然な色で撮影します。
	暖色系照明の室内において、自然な色で撮影します。
	手持ち撮影に最適な設定を行います。
	三脚を用いた撮影に適した設定を行います。

- メモ：――
- シーンは撮影条件によって選択され、インテリジェントオートでは自動的に調整が行われます。
 - 撮影状況に応じて、複数のシーンが設定される場合があります。
 - 撮影状況によっては、正しく動作しないことがあります。

動画撮影時の操作ボタン



	操作ボタン	説明
①	動画/静止画切換	動画モードと静止画モードを切り換えます。
②	T/W メモリーズーム	ズーム位置を記憶して、記憶したズーム位置をワンタッチで呼び出すことができます。また、W 側(広角側)や T 側(望遠側)の端までワンタッチでズームすることができます。 "ズームを使う" (p. 33)
③	タグ	撮影中にタグを記録します。記録したタグを使って、スポーツセンシング社製 PC アプリケーションでかんたんに頭出しができます。
④ / ⑤	撮影開始 撮影停止	START/STOP ボタンと同じ動作をします。
⑥	MENU	撮影メニュー(動画)が表示されます。 "メニュー操作のしかた" (p. 92)
⑦	画面表示切換 D	ボタンをタッチするたびにフル表示(D?)とシンプル表示(D)を切り換えることができます。 • シンプル表示:一部の表示は約3秒間で消えます。 • フル表示:すべてを表示させることができます。画面表示切換ボタンが D から D? に変わります。 • 電源を切るとフル表示(D?)になります。

撮影するときの便利な設定

- "高速起動"が"入"のときは、電源を切ってから5分以内のときに、電源ボタンを押すとすぐに撮影ができます。

"高速起動" (☞ p. 107)

- "オートパワーオフ"が"入"のときは、何も操作せずに5分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。

"オートパワーオフ" (☞ p. 107)

- "タッチ優先AE／AF"が"顔追尾"のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせてきれいに撮影できます。

"被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先AE／AF)" (☞ p. 36)

- "日時表示記録"を使うと、動画に撮影日時を入れて記録できます。

"動画に撮影日時を記録して撮影する" (☞ p. 50)

ご注意：

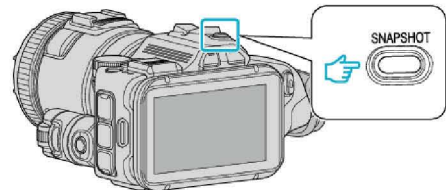
- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所では、使わないでください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- 本機の温度が上がりすぎると回路保護のため、電源が切れることがあります。
- アクセスランプ点灯中は、バッテリーやACアダプター、SDカードを取りはずさないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってからACアダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。
- 免責事項
 - ・本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - ・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
 - ・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。
 - ・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

メモ：

- 記録メディアの残量を確認してから撮影を開始しましょう。記録容量が十分でなければ、パソコンやディスクにデータを移動(保存)しておいてください。
- メディアに多くのファイルが存在する場合、再生時に画面が表示されるまでに時間がかかります。アクセスランプ点滅中は正しく動作していますので、しばらくお待ちください。
- 撮影終了後は、こまめに保存することをおすすめします。
- 仕様上、12時間以上の連続撮影ができません。12時間経過すると自動的に撮影が停止します。
(撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
- 長時間の連続撮影では、自動的に最大4GBまたは30分ごとのファイルに分割されます。
- 室内で長時間録画するときには、ACアダプターをつないで撮影することもできます。
- 被写体や撮影状況によっては、インテリジェントオートでも正しく撮影できないことがあります。
- 撮影条件によっては、画面の四隅が暗くなることがありますが、故障ではありません。このようなときはズームレバーを動かすなど、撮影条件を変えてご使用ください。

動画撮影中に静止画を撮影する

動画モード(待機中や撮影中)のときにSNAPSHOTボタンを押すと、静止画を撮影できます。



- 静止画の記録中は画面に"PHOTO"が点灯します。



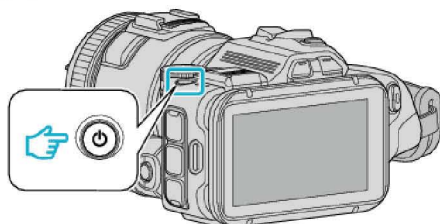
メモ：

- 動画モード中に撮影した静止画のサイズは、1920×1080になります。
- 以下のような状況では、操作できません：
 - メニューが表示されているとき
 - 残量時間が表示されているとき
 - "動画画質"を"360p"か"720p"に設定しているとき
 - "高速撮影"を設定しているとき
 - "タイムラプス撮影"を撮影しているとき
 - "お楽しみ撮影"のいずれかを設定しているとき
 - デジタルズームを使用しているとき
 - シャッタースピードを"4秒"に設定しているとき
 - 無線LANを使用しているとき

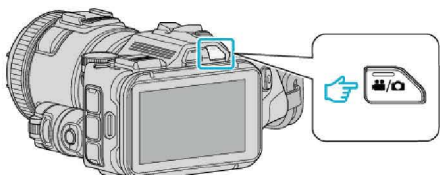
静止画をオートで撮影する

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。

1 電源を入れる

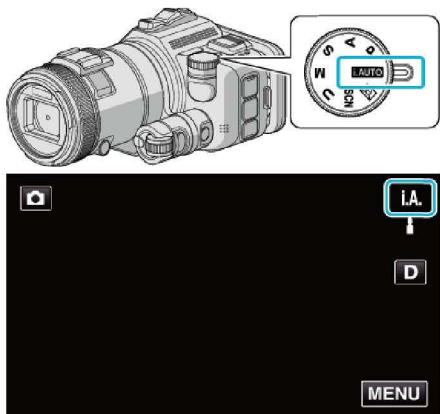


2 静止画モードを選ぶ

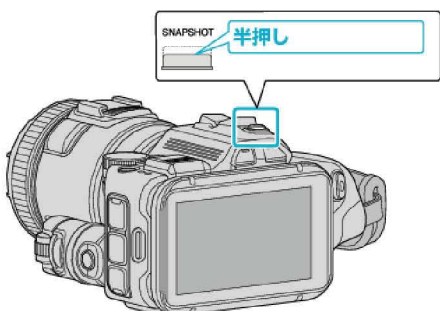


- 液晶画面のアイコンが静止画になります。

3 撮影ダイヤルを "i.AUTO" に合わせる

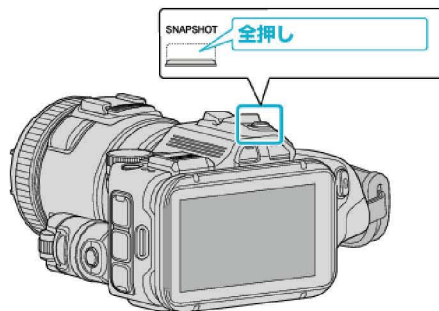


4 被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

5 シャッターを切る

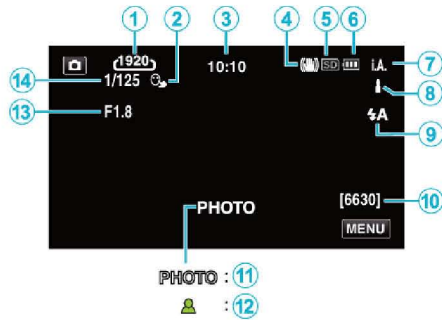


- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。

メモ：

- 被写体や撮影状況によっては、インテリジェントオートでも正しく撮影できないことがあります。
- 手ぶれ補正は、半押ししたときのみ動作します。

静止画撮影時の画面表示



- 一部の表示は約3秒間で消えます。D ボタンを使って表示を切り換えられます。

	表示アイコン	説明
①	静止画サイズ	静止画サイズのアイコンを表示します。 ● 静止画サイズは変更できます。 "静止画サイズ" (p. 100)
②	タッチ優先 A E / A F	"タッチ優先 A E / A F" の設定を表示します。 お買い上げ時は "顔追尾" に設定されています。 "被写体を自動追尾して撮影する (タッチ優先 A E / A F)" (p. 36)
③	時刻	現在時刻を表示します。 "時計を合わせる" (p. 20)
④	手ぶれ補正	手振れ補正設定を表示します。 "手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)
⑤	SD カード	SD カードが挿入されているかどうかを表示します。
⑥	バッテリー残量	使用状態におけるバッテリー残量の目安を表示します。 "残量時間を確認する" (p. 51)
⑦	撮影モード	現在の撮影モードが表示されます。
⑧	インテリジェントオートの設定シーン	インテリジェントオートで自動的に設定されるシーンをあらわします。複数のシーンが設定される場合があります。
⑨	フラッシュモード	フラッシュモードが表示されます。
⑩	撮影可能枚数	静止画撮影が可能な残り枚数を表示します。 "静止画の撮影可能枚数の目安 (単位: 枚)" (p. 53)
⑪	静止画記録中	静止画の記録中は "PHOTO" を表示します。
⑫	ピント合わせ	ピントが合うと緑色に点灯します。
⑬	絞り値	絞り値を表示します。
⑭	シャッタースピード	シャッタースピードを表示します。

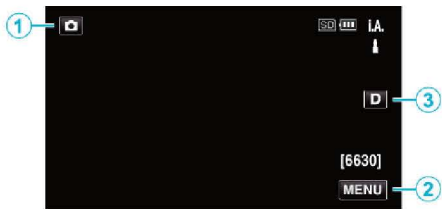
インテリジェントオートのシーン

表示アイコン	説明
	肌を美しく撮影します。
	人物を自然に表現できるように撮影します。
	グループを撮影する際に、最適な設定で撮ります。
	笑顔の人物をきれいに撮ります。
	近接の被写体にピントを合わせて撮影します。
	遠景にピントが合い、シャープで色鮮やかな映像になります。
	薄暗い場所で、全体的にノイズを抑えて撮影します。
	全体的にノイズを抑え、夜景を忠実に表現するように撮影します。
	雪原や砂浜などかなり明るい屋外でも、なるべく色飛びせずに撮影します。
	スポットライトがあたった被写体を、なるべく色飛びせずに撮影します。
	木々の緑を鮮明に撮影します。
	夕暮れの様子を自然な色で撮影します。
	逆光で被写体が暗く写ることを防ぎます。
	色彩の鮮やかさを強調して撮ります。
	日中の屋外で、自然な色になるように撮影します。
	寒色系照明の室内において、自然な色で撮影します。
	暖色系照明の室内において、自然な色で撮影します。
	手持ち撮影に最適な設定を行います。
	三脚を用いた撮影に適した設定を行います。

メモ：

- シーンは撮影条件によって選択され、インテリジェントオートでは自動的に調整が行われます。
- 撮影状況に応じて、複数のシーンが設定される場合があります。
- 撮影状況によっては、正しく動作しないことがあります。

静止画撮影時の操作ボタン



	操作ボタン	説明
①	動画/静止画切換	動画モードと静止画モードを切り換えます。
②	MENU	撮影メニュー(静止画)が表示されます。 "メニュー操作のしかた" (p. 92)
③	画面表示切換 D	ボタンをタッチするたびにフル表示(D_F)とシンプル表示(D)を切り換えることができます。 • シンプル表示:一部の表示は約3秒間で消えます。 • フル表示:すべてを表示させることができます。画面表示切換ボタンがDからD_Fに変わります。 • 電源を切るとフル表示(D_F)になります。

撮影するときの便利な設定

- "高速起動"が"入"のときは、電源を切ってから5分以内のときに、電源ボタンを押すとすぐに撮影ができます。
- "高速起動" (p. 107)
- "オートパワーオフ"が"入"のときは、何も操作せずに5分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。
- "オートパワーオフ" (p. 107)
- "タッチ優先 A E / A F"が"顔追尾"のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせてきれいに撮影できます。
- "被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先 A E / A F)" (p. 36)

ご注意:

- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所では、使わないでください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- 本機の温度が上がりすぎると回路保護のため、電源が切れることがあります。
- アクセスランプ点灯中は、バッテリーや AC アダプター、SD カードを取りはずさないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

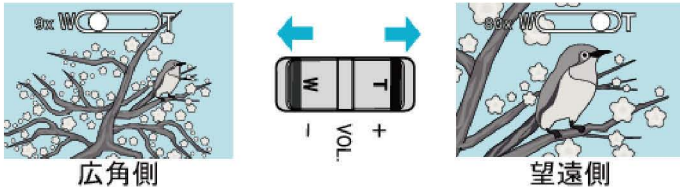
メモ:

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。
- 撮影条件によっては、画面の四隅が暗くなることがありますが、故障ではありません。このようなときはズームレバーを動かすなど、撮影条件を変えてご使用ください。

ズームを使う

ズームを使うと、画角を調整できます。

- 視野を広く撮影するときは、W 側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、T 側(望遠側)にしてください。



メモ：———

- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
- ズーム倍率の範囲は変更できます。

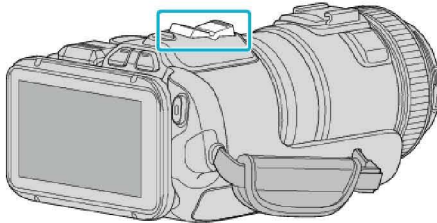
"ズーム倍率" (p. 95)

メモリーズーム

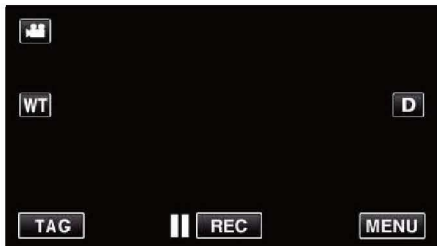
動画モードでは、タッチパネルのメモリーズーム(WT)でズーム位置を記憶できます。

■ 記憶方法

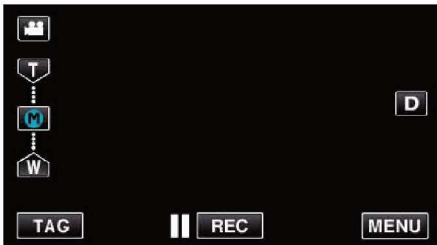
1 記憶したい位置までズームする



2 "WT"をタッチする



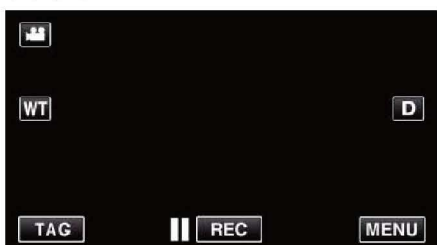
3 "M"を長押しする(約 1 秒)



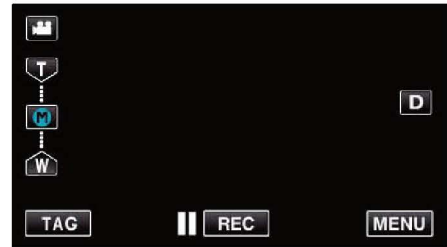
- ズーム位置を記憶します。

■ 使用方法

1 "WT"をタッチする



2 "M"をタッチする



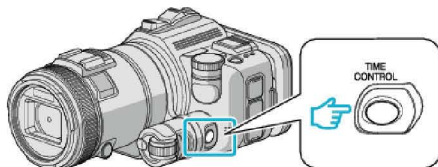
- 記憶したズーム位置までズームします。
- "W"、"T"をタッチすると W 端(広角側)または T 端(望遠側)までズームします。

連写する

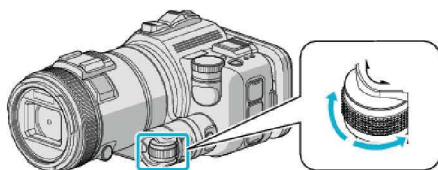
静止画モードでは SNAPSHOT ボタンを押している間、連写します。

項目	内容
L	約 2 コマ/秒 枚数無制限
H1	約 7 コマ/秒 最大 115 枚
H2	約 15 コマ/秒 最大 115 枚
H3	約 30 コマ/秒 最大 115 枚
H4	約 60 コマ/秒 最大 115 枚

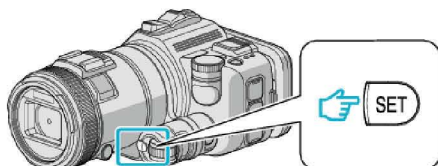
1 TIME CONTROL ボタンを押す



2 調節ダイヤルで連写速度を選ぶ



3 SET ボタンを押す



- TIME CONTROL ボタンを押しても決定できます。

ご注意：

- "H1"～"H4"は、"スマイルショット"と"スマイル%"が表示されません。

設定を変えて撮影する

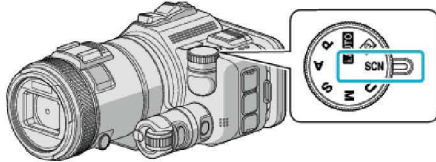
撮影ダイヤルで目的に応じた撮影方法を選びます。

撮影ダイヤル	内容
i.AUTO	インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。 "動画をオートで撮影する" (p. 27) "静止画をオートで撮影する" (p. 30)
P	被写体の明るさに応じて、絞りとシャッタースピードが自動的に調節されます。 "P:露出(明るさ)を補正する(プログラムオート)" (p. 37)
A	絞りを手動調節し、シャッタースピードは自動的に調節されます。 "A:絞りを調節する(絞り優先)" (p. 37)
S	シャッタースピードを手動調節し、絞りは自動的に調節されます。 "S:シャッタースピードを調節する(シャッタースピード優先)" (p. 38)
M	絞りとシャッタースピードを手動調節します。 "M:絞りとシャッタースピードを同時に調節する(マニュアル)" (p. 38)
U	撮影でよく使う設定の組み合わせを U に登録できます。 "USER ダイアルの設定値を保存する" (p. 38)
SCN	場面や状況に合わせて撮影します。(シーンセレクト) "場面(被写体)に合わせて撮影する" (p. 35)
☑	被写体を自動追尾して撮影します。(顔優先/タッチ優先) "被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先AE/AE F)" (p. 36)

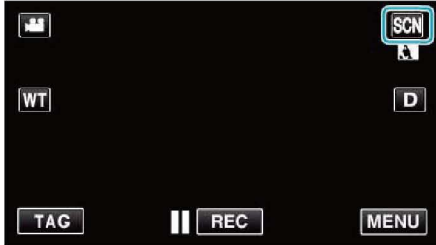
場面(被写体)に合わせて撮影する

撮りたいものに合わせて明るさやシャッタースピードを自動調節するには、撮影ダイヤルをシーンセレクト(SCN)に合わせます。

1 撮影ダイヤルを SCN に合わせる



2 "SCN"をタッチする

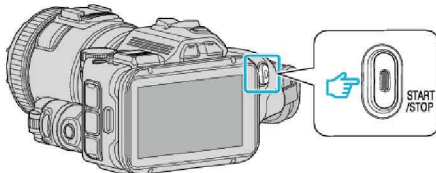


3 シーンを選んでタッチする



- < または > をタッチすると、画面をスクロールできます。
- X をタッチすると、メニューを閉じます。

4 撮影する



設定	エフェクト
アウトドアスポーツ	屋外での、動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮影できます。
インドアスポーツ	屋内での、動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮影できます。
逆光補正	逆光によって、被写体が暗くなるのを補正します。
ポートレート	背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。
美肌	人物の顔の肌をなめらかにします。
風景	自然の風景などを撮影したいときに使います。
風景&人物	自然の風景を背景に、人物を撮影するときに使います。
夜景	夜景などを自然な感じに撮影できます。 • 静止画モードのときはスローシャッターになり、実際の映像よりも明るく撮影します。
夜景&人物(静止画のみ)	夜景の雰囲気を活かしながら、人物をフラッシュ撮影します。
ナイトアイ	周囲が薄暗いときは、スローシャッターになり、自動的に感度を上げて明るくします。 手ブレしないように三脚を使用してください。
スノー	晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。
ビーチ	晴天の海や砂浜などを、明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
スポットライト	ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。
花火	打ち上げ花火を撮影するときに使います。
夕焼け	赤い夕焼けや朝焼けを撮影するときに使います。

メモ：――

- "フレームインREC"のときは、"シーンセレクト"のすべてのシーンが設定できません。
- 風景/夜景/花火/夕焼けモードは、遠景のみにピントが合うように設定されています。

撮影する

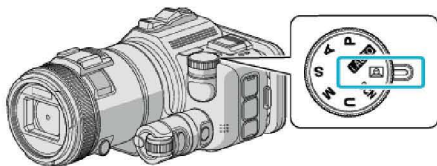
被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先AE／AF)

"タッチ優先AE／AF"はタッチした場所の情報を基にしてピントや明るさを調整する機能です。

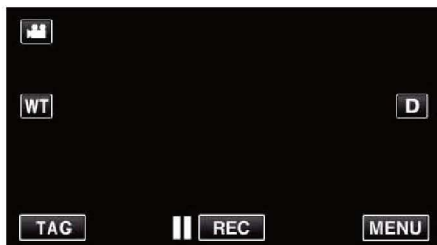
この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。

- 撮影ダイヤルが  のときに使えます。

1 撮影ダイヤルを に合わせる



2 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

3 "撮影設定"をタッチする



4 "タッチ優先AE／AF"をタッチする



- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 〻 をタッチすると、前画面に戻ります。

5 設定したい項目をタッチする



顔追尾

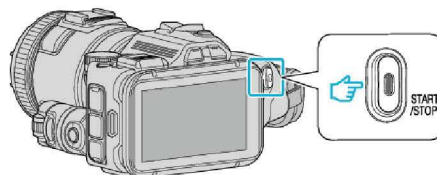
色追尾

タッチエリア



- タッチした場所(顔・色・エリア)を基準にピントや明るさが自動的に調整されます。また、基準となっている被写体(顔・色)に青枠が表示され、基準となっているエリアには白枠が表示されます。
- 再設定したい場合は、設定したい場所(顔・色・エリア)を再度タッチしてください。
- "顔追尾"または"色追尾"を解除したい場合は、青枠をタッチしてください。
- "タッチエリア"を解除したい場合は、白枠をタッチしてください。

6 START/STOP ボタンを押して、撮影を開始する



設定	内容
切	設定しません。
顔追尾	画面に  が表示されます。タッチした顔(被写体)を追尾し、その被写体にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチした顔(被写体)には青枠がつきます。
色追尾	画面に  が表示されます。タッチした色(被写体)を追尾し、その被写体にピントを自動的に合わせて撮影します。また、タッチした色(被写体)には青枠がつきます。
タッチエリア	画面に  が表示されます。タッチしたエリア(固定位置)にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチしたエリアには白枠がつきます。タッチ優先AE／AFのタッチエリアは、光学ズーム領域に限り有効です。(デジタルズーム時は無効です)

メモ:

- "タッチ優先AE／AF"が設定されているときは、"フォーカス"が自動的に"オート"に設定されます。
- 選択した場所(顔・色・エリア)を再度タッチすると、設定が解除されます。
- 選択した場所(顔・色・エリア)以外をタッチすると、場所(顔・色・エリア)を再設定します。
- 被写体を追尾できなくなった場合は、再度被写体をタッチしてください。
- ズーム操作をすると、設定が解除されます。("タッチエリア"設定のみ)
- "色追尾"を設定している場合、似たような色を検出すると、対象の被写体(色)が変更されることがあります。このようなときは、被写体を再度タッチしてください。また、対象の被写体(色)を見失ったとき、画面中心に対象の被写体(色)が一定時間現れると、再追尾できます。

ご注意:

- 液晶モニターの端にいる被写体をタッチした場合、正しく反応(認識)しないことがあります。このようなときは、被写体を中央寄りにしてから、タッチしてください。
- 撮影状況(距離、角度、明るさなど)、被写体の状態(顔の向きなど)によっては、"顔追尾"が正しく動作しないことがあります。特に逆光のときは顔の検出が難しくなります。
- 以下のような場合、"色追尾"が正しく動作しないことがあります。
 - コントラストがない被写体を撮影するとき
 - 高速で動く被写体を撮影するとき
 - 暗い室内などで撮影するとき
 - 周囲の明るさが変わったとき
- デジタルズーム中は、"タッチエリア"は使用できません。

■ 笑顔の度合いを表示させたいとき

メニューの"スマイル%"を"入"にします。
"スマイル%(☺のみ)" (p. 94)

- 笑顔の度合い(スマイル%)が数値で表示されます。(最大3箇所)
- 表示を消すときは、"スマイル%"を"切"にします。

■ 笑顔を静止画で撮りたいとき

メニューの"スマイルショット"を"入"にします。
"スマイルショット(☺のみ)" (p. 94)

- 枠の付いた人物が笑顔になる度に、自動的に静止画が撮影されます。

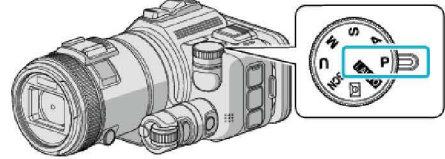
手動で調節して撮影する

シャッタースピードや絞り値を手動で調節して撮影できます。これらは、動画と静止画で別々に設定します。

P: 露出(明るさ)を補正する(プログラムオート)

露出を調節すると、被写体の明るさに応じて"絞り"と"シャッタースピード"が自動的に調節されます。

1 撮影ダイヤルをPに合わせる



- 露出が自動的に補正されます。

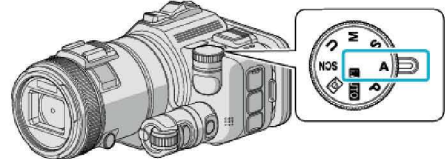
■ さらに露出を手動で補正するには

- "EXPOSURE"ボタンを押し、調節ダイヤルで数値を変更し、"SET"ボタンを押します。

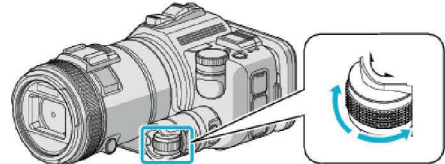
A: 絞りを調節する(絞り優先)

"シャッタースピード"が自動的に調節され、適切な露出になります。

1 撮影ダイヤルをAに合わせる



2 調節ダイヤルで数値を変更する



メモ:

- 絞りの数値を小さくすると、背景がボケて、人物が引き立ちます。

■ さらに露出を手動で補正するには

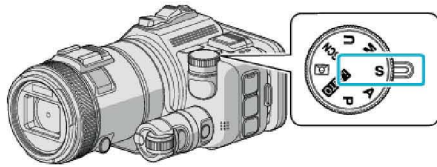
- "EXPOSURE"ボタンを押し、調節ダイヤルで数値を変更し、"SET"ボタンを押します。

撮影する

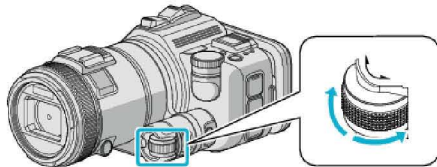
S:シャッタースピードを調節する(シャッタースピード優先)

"絞り"が自動的に調節され、適切な露出になります。

1 撮影ダイヤルを S に合わせる



2 調節ダイヤルで数値を変更する



メモ:

- シャッタースピードの数値を小さくすると、動きの速い被写体でもブレずに写せます。

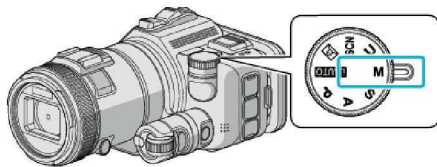
さらに露出を手動で補正するには

- "EXPOSURE"ボタンを押し、調節ダイヤルで数値を変更し、"SET"ボタンを押します。

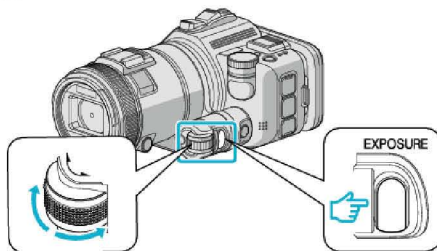
M:絞りとシャッタースピードを同時に調節する(マニュアル)

絞りとシャッタースピードを調節すると、露出(明るさ)が決まります。

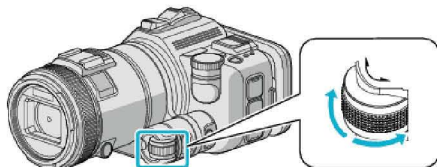
1 撮影ダイヤルを M に合わせる



2 調節ダイヤルで "シャッタースピード"の数値を変更し、"EXPOSURE"ボタンを押す



3 調節ダイヤルで "絞り"の数値を変更する



メモ:

- マニュアル(M)で絞りとシャッタースピードを調節すると、適切な露出にならないことがあります。
- 動画撮影モードの場合、シャッタースピードを 4 秒に設定すると、フォーカスがマニュアル固定、"感度アップ"が"切"に固定されます。

U:よく使う機能の設定値を保存する(ユーザー設定)

絞り・シャッタースピードなどを調節する場合、同じ設定値を繰り返して使うときは、設定値を保存しておくことで設定を簡単に再現できます。

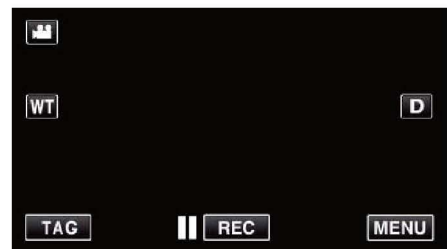
撮影ダイヤルのユーザー設定(U)に、動画と静止画で別の設定値を保存できます。

設定できる項目

項目名	アイコン	参照
シャッタースピード	両方	—
絞り	両方	—
ホワイトバランス	両方	"ホワイトバランスを設定する" (p. 41)
感度アップ	のみ	"感度アップ(P、A、S、Mのみ)" (p. 93)
ISO感度	のみ	"ISO感度(P、A、S、M、Uのみ)" (p. 99)

USER ダイヤルの設定値を保存する

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 右下の > をタッチする

(画面は撮影ダイヤルが i.AUTO の場合です)



4 "USER ダイヤル"をタッチする



5 設定する項目をタッチする



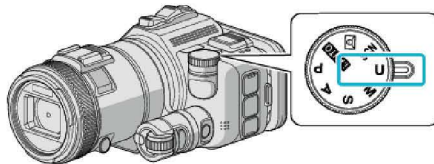
6 設定値をタッチする

- "シャッタースピード"と"絞り"の場合、"マニュアル"をタッチしたときは、続いて</>をタッチして設定値を選び、"決定"をタッチします。
- ほかの項目も設定するときは、手順 5~6 を繰り返します。

7 × をタッチする



8 撮影ダイヤルを U に合わせて、撮影する

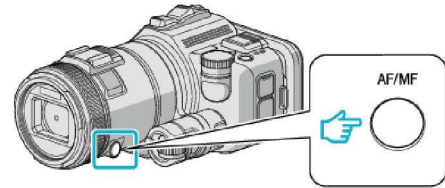


手動でピントを合わせる

インテリジェントオートでピントが合わないときや、手動でピントを合わせたいときに設定します。

- 撮影ダイヤルが P、A、S、M、U、SCN のときに使えます。

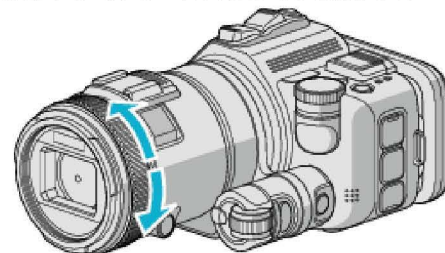
1 AF/MF ボタンを押す



- フォーカス調整画面になります。



2 フォーカスリングでフォーカス(ピント)を調節する



- ▲ が点滅しているときは、それ以上、遠くにピントを合わせることができません。
- ■ が点滅しているときは、それ以上、近くにピントを合わせることができません。

メモ：

- ズームを使うときは、望遠(T)側でフォーカスを合わせてから広角(W)にすると、フォーカスがずれません。

■ オートフォーカス(自動調整)に戻るとき

AF/MF ボタンを押して、▲ と ■ を消します。

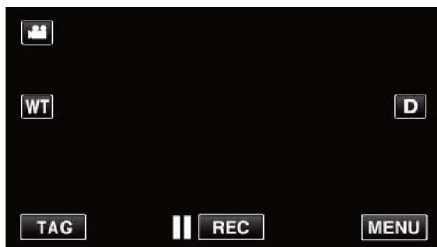
撮影する

フォーカスアシストを使ってピントを合わせる

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

- 撮影ダイヤルが P、A、S、M、U、SCN のときに使えます。

1 "MENU"をタッチする



2 "撮影設定"をタッチする

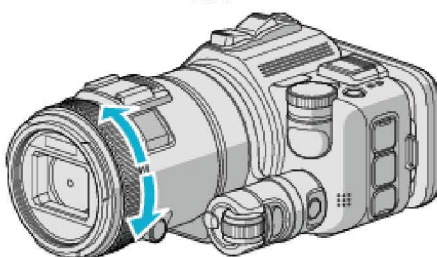


3 "フォーカスアシスト"をタッチする



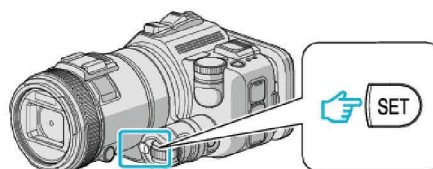
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- < をタッチすると、前画面に戻ります。

4 フォーカスリングでピントを調節する



- ▲ が点滅しているときは、それ以上、遠くにピントを合わせることができません。
- ■ が点滅しているときは、それ以上、近くにピントを合わせることができません。

5 SET ボタンを押して、確定する



メモ：

フォーカスアシスト設定時は、画面が白黒になり、ピントが合っている部分の輪郭に選んだ色が付きます。輪郭線が見にくくなったときは色を変えてください。

- "撮影設定"メニューの、"アシストカラー"で色を変えます。（"赤"、"緑"、"青"）

ホワイトバランスを設定する

光源に合わせて、色合いの設定ができます。
この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。

- 撮影ダイヤルが P、A、S、M のときに使えます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "ホワイトバランス"をタッチする



- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 冂 をタッチすると、前画面に戻ります。

4 撮影条件を選んでタッチする



- < または > で項目を選び、「決定」をタッチします。(アイコンを直接タッチしても決定できます。)
- 設定後、ホワイトバランスのアイコンが表示されます。

設定	内容
(A) オート	自動的に自然な色合いになるように調節します。
ワンタッチ	色の不自然さが解消されないときに使います。
はれ	晴れた日の屋外で撮影するときに設定します。
くもり	曇りの日や日陰で撮影するときに設定します。
ハロゲン	撮影ライトなど照明の下で撮影するときに設定します。
蛍光灯 1	昼白色蛍光灯の照明下で撮影するときに設定します。
蛍光灯 2	昼光色蛍光灯の照明下で撮影するときに設定します。

ワンタッチを使うときは

- 1 白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する
- 2 "ワンタッチ"にカーソルを合わせて "決定"をタッチし続ける
または "ワンタッチ"のアイコンをタッチし続ける
- 3 メニューが消え が点灯してから、指を画面から離す

メモ：

- "ワンタッチ"をタッチし続けている時間が短いと(1 秒未満)、設定は変更されません。
- 撮影ダイヤルが i.AUTO または SCN のときは、設定が "オート"に固定されます。
- 撮影ダイヤルが U のときは、"USER ダイヤル"の "ホワイトバランス"で設定します。

撮影する

接写で撮影する

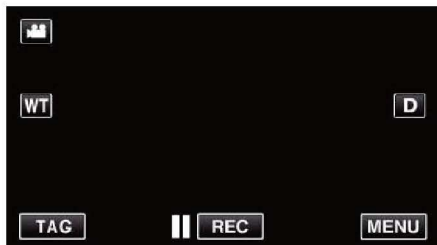
テレマクロ機能を設定すれば、被写体に接近して接写することができます。この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。

- 撮影ダイヤルが P、A、S、M、U のときに使えます。



※画像はイメージです。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "テレマクロ"をタッチする



- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⏪ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "入"をタッチする



- 設定すると、アイコン  が表示されます。

設定	内容
切	望遠(T)側では約 1 m まで近づけます。 広角(W)側では約 5 cm まで近づけます。
入	望遠(T)側では約 60 cm まで近づけます。 広角(W)側では約 5 cm まで近づけます。

メモ：

- 撮影ダイヤルが P、A、S、M、U のときにテレマクロ機能が設定できます。

ご注意：

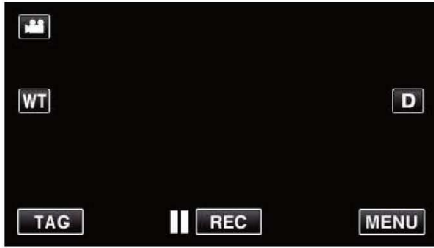
- 接写しないときは、「テレマクロ」を「切」にしてください。
「入」のままだと、画像がぼけることがあります。

白飛びした場所を確認する(ゼブラ機能)

動画撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様(ゼブラパターン)を表示します。

- 撮影ダイヤルがP、A、S、M、Uのときに使えます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "ゼブラ"をタッチする



- Xをタッチすると、メニューを閉じます。
- 右矢印をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "70-80%"または"OVER 100%"をタッチする

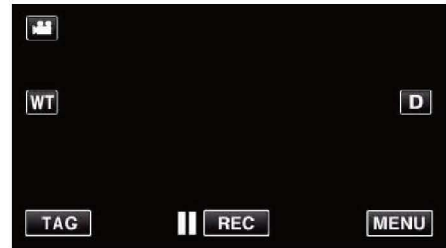


設定	内容
切	ゼブラ機能を使いません。
70-80%	白とびに近い(明るい)場所を、しま模様で表示します。
OVER 100%	白とびした(明るすぎる)場所を、しま模様で表示します。

手ぶれを補正して撮影する

手ぶれ補正を設定すると、撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

1 "MENU"をタッチする



2 "撮影設定"をタッチする



3 "手ぶれ補正"をタッチする

(画面は撮影ダイヤルがi.AUTOの場合です)



- Xをタッチすると、メニューを閉じます。
- 右矢印をタッチすると、前画面に戻ります。

4 設定したい項目をタッチする



設定	内容
 切	手ぶれを補正しません。
 E I S / O I S	通常の撮影条件で手ぶれを補正します。
 A I S (動画モード()のみ)	明るいシーンを広角側で撮影する場合に、より手ぶれ補正の効果を発揮します。 ※広角側(~5 倍)のみ

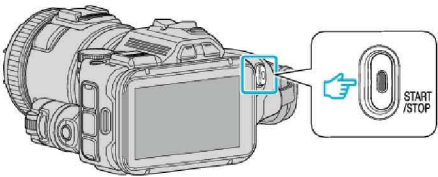
- メモ：_____
- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、"切"にすることをおすすめします。
 - 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
 - "A I S"のときは、画角が狭くなります。
 - 静止画撮影時は、SNAPSHOT ボタンを半押ししたときのみ手ぶれ補正が動作します。

撮影中の動画にタグを入れる

動画記録中に、特定のシーンにタグをつけることができます。タグをつけると、その位置が記録され、あとからスポーツセンシング社製 PC アプリケーションでかんたんに頭出しができます。

撮影中の動画にタグを入れる

1 動画撮影を開始する



- もう一度、START/STOP ボタンを押すと、撮影を停止します。

2 タグボタンをタッチする



- 必要な回数だけくり返しタッチします

3 START / STOP ボタンを押して動画撮影を終了する

- メモ：_____
- 前後 3 秒の動画がタグに登録されます
 - タグの活用方法については、スポーツセンシング社製 PC アプリケーションの取扱説明書をご覧ください

スローモーションを撮影する(高速撮影)

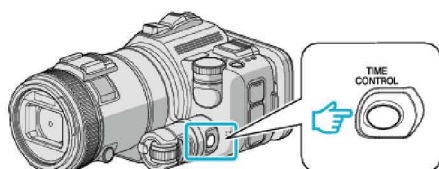
撮影速度を上げて動きを強調したスローモーション動画を撮影し、再生時に滑らかなスローモーション映像を再生できます。
ゴルフのスイングなどを確認したいときに便利です。

撮影速度	画像サイズ
600fps(10x)	320×176
420fps(7x)	320×176
300fps(5x)	640×360
240fps(4x)	640×360
120fps(2x)	640×360

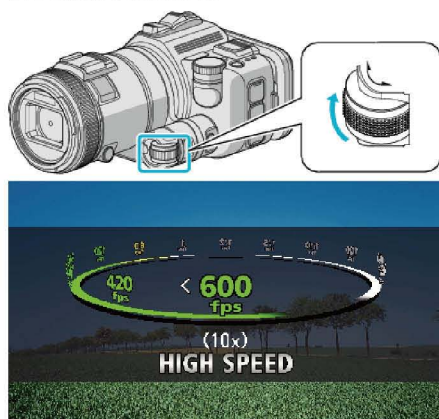
- 再生するときは 300fps の場合で、実際の撮影時間と比べて 5 倍の再生時間になります。

(例)1 分間撮影した場合、再生時間は 5 分間となります。

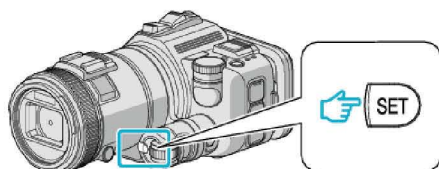
1 TIME CONTROL ボタンを押す



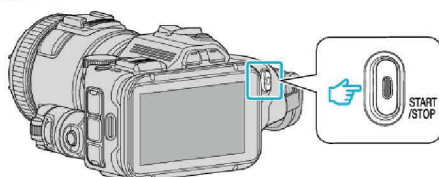
2 調節ダイヤルで撮影速度を選ぶ



3 SET ボタンを押す



4 撮影を開始する



メモ：

- 解像度を小さくし高速に記録するため、画像が粗くなります。また、通常の撮影より暗くなるため三脚を使用し、なるべく明るい場所で "感度アップ (p. 93)" を "オート" にして撮影することをおすすめします。
- 撮影した動画に音声は記録されません。
- 高速撮影を設定している間は、光学ズームのみ使えます。
- 高速撮影でもシャッタースピードを変更できます。
- 高速撮影では、"タッチ優先 A E / A F" が "切" に設定されます。
- 高速撮影中はシーンカウンターがスムーズに動かないときがあります。
- ハイスピード (600fps) 記録で、SDXC カード使用時は記録時間が 3 分に制限されます。

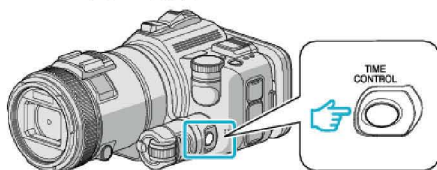
■ 通常撮影に戻すには

- TIME CONTROL ボタンを押して、調節ダイヤルで "60fps" を選んでください。

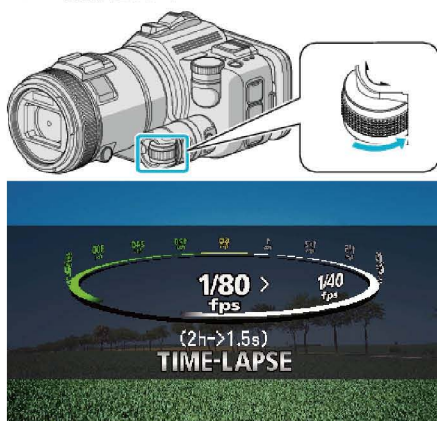
微速度撮影をする(タイムラプス撮影)

一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。

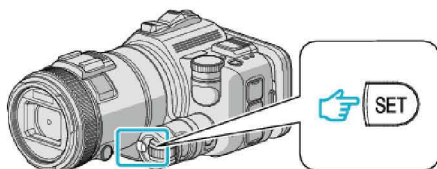
1 TIME CONTROL ボタンを押す



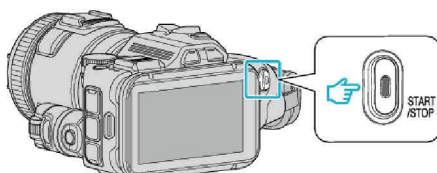
2 調節ダイヤルで撮影速度を選ぶ



3 SET ボタンを押す



4 撮影を開始する



- 設定した撮影間隔で1コマ撮影をします。
- 撮影間隔を"20秒間隔"以上に設定しているとき、撮影の合間は省電力状態になります。
次の撮影時間になると、自動的に省電力を解除し、撮影をします。

■ 通常撮影に戻すには

- TIME CONTROL ボタンを押して、調節ダイヤルで"60fps"を選んでください。

タイムラプス撮影中の画面表示



	画面表示	説明
①	撮影間隔	設定している撮影間隔を表示します。
②	実記録時間	実際に撮影した動画の記録時間を表示します。 記録時間はフレーム単位で増加します。
③	撮影経過時間	撮影を開始してから実際の経過時間を表示します。
④	撮影可能時間	設定中の動画画質で録画可能な残り時間です。

タイムラプス撮影の設定内容

設定数値が小さいほど撮影間隔が長くなります。

設定	内容
5fps	1/5 秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は12倍速で再生されます。
1fps	1秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は60倍速で再生されます。
1/5fps	5秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は300倍速で再生されます。
1/10fps	10秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は600倍速で再生されます。
1/20fps	20秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は1200倍速で再生されます。
1/40fps	40秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は2400倍速で再生されます。
1/80fps	80秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は4800倍速で再生されます。

ご注意：

- タイムラプス撮影で撮影した動画には、音声記録されません。
- タイムラプス撮影中は、ズーム操作、写真同時撮影、および手ぶれ補正が使えません。
- 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。

メモ：

- 撮影開始から99時間を経過すると、自動的に撮影を停止します。
- 撮影間隔の長いタイムラプス撮影では、三脚およびACアダプターをご使用ください。
また、フォーカスやホワイトバランスをマニュアルで固定して使うことをおすすめします。

"三脚の取り付けかた" (p. 23)

"手動でピントを合わせる" (p. 39)

"ホワイトバランスを設定する" (p. 41)

動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を検出して、自動的に動画または静止画の撮影をします。
フレームイン REC は、動画でも、静止画でも設定できます。

- 1 撮影する被写体に合わせて、構図を決める
 - ズームなどを使って画角を合わせてください。
- 2 "MENU"をタッチする

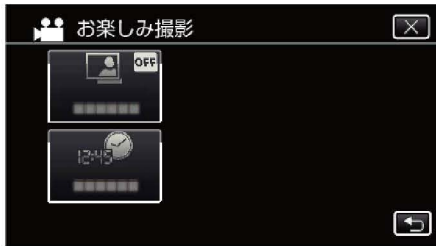


- トップメニューが表示されます。

- 3 "お楽しみ撮影"をタッチする



- 4 "フレームインREC"をタッチする



- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻る をタッチすると、前画面に戻ります。

- 5 "入"をタッチする



- 6 赤枠内の被写体が動いたら、自動的に撮影が開始される



- メニュー表示が消えてから、約 2 秒後に赤い枠を表示します。
- 動画撮影の場合、赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなるまで撮影を続けます。赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなると 5 秒後に撮影を停止します。
- 手動で動画撮影を停止したい場合は、START/STOP ボタンを押してください。ただし、動画撮影を停止後も "フレームインREC" 設定 "入" の状態は継続するため、赤枠内の被写体に動き(明るさの変化)を検出したら、再度撮影を開始します。フレームイン REC を解除するには、"フレームインREC" 設定を "切" にしてください。

ご注意:

- "フレームインREC" 設定後は、デジタルズーム、手ぶれ補正、セルフタイマー、および連写は使えません。
- "フレームインREC" と "タイムラプス撮影" の併用はできません。設定した場合は、"タイムラプス撮影" を優先します。
- "フレームインREC" 設定後は、"静止画サイズ" の変更ができません。"フレームインREC" を設定する前に、"静止画サイズ" を設定してください。
- "フレームインREC" 設定後は、オートパワーオフおよびパワーセーブが無効になります。
- 高速撮影設定中は "フレームインREC" 機能を使用できません。

メモ:

- 動画撮影の場合、変化がなくなると 5 秒後に撮影を停止します。
- "フレームインREC" の設定は、電源を切ると解除されます。
- 赤枠内の被写体の動きが早いなど明るさの変化が小さい場合は、撮影を開始できない場合があります。
- 赤枠内に動きが無くても、明るさの変化によっては撮影を開始してしまうことがあります。
- ズーム動作中は撮影を開始できません。

記念写真を撮影する(セルフタイマー)

記念写真を撮影するときは、10 秒セルフタイマーや顔検出セルフタイマーを使うと便利です。

また、2 秒セルフタイマーを使えば、シャッターを切るときの手ぶれを防ぐことができます。

静止画モードで使用できます。動画モードでは使用できません。

メモ：——
セルフタイマーを設定したときは、三脚を使って撮影することをおすすめします。

"三脚の取り付けかた" (p. 23)

2 秒/10 秒セルフタイマーを使うとき

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "セルフタイマー"をタッチする

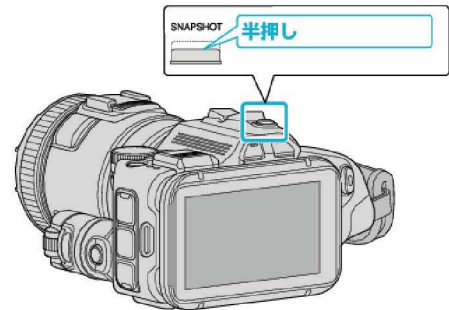


- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻る をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "2 秒"または"10 秒"をタッチする

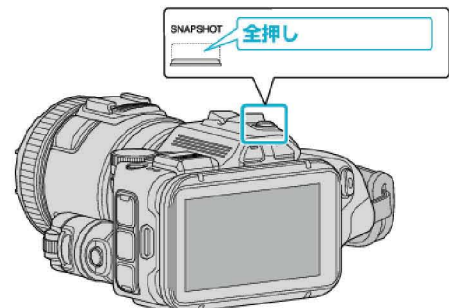


5 被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

6 シャッターを切る



- 撮影までのカウントダウンが表示されます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

顔検出セルフタイマーを使うとき

SNAPSHOT ボタンを押すと顔を検出し、画面内に 1 人加わると 3 秒後に撮影します。
撮影する人も一緒に写って撮影できます。
静止画モードで使用できます。動画モードでは使用できません。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "セルフタイマー"をタッチする

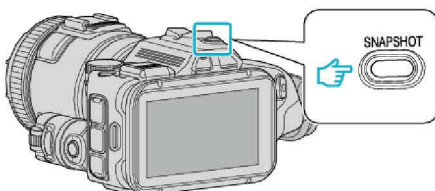


- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻る をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "顔検出"をタッチする



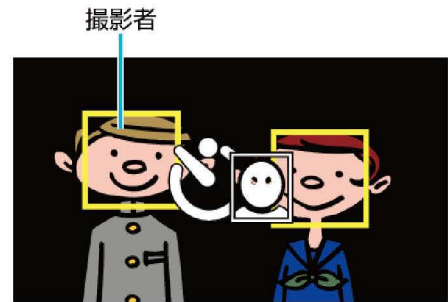
5 撮影する全員が本機側を向いていることを確認してから、SNAPSHOT ボタンを押す



- 人物の顔に枠が付きます。

- SNAPSHOT ボタンをもう一度押すと、10 秒カウントダウンが始まります。

6 撮影者が画面内に入る



- 撮影者が画面内に入ると 3 秒後にシャッターが切れます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

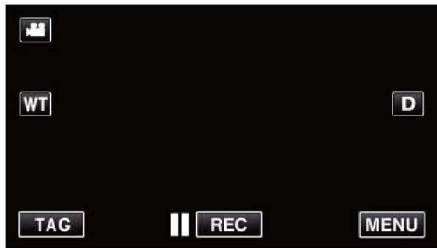
メモ：

- 撮影環境によっては "顔検出" で顔を検出できないことがあります。

動画に撮影日時を記録して撮影する

動画に撮影した日付や時間を記録して撮影できます。
日時を表示させてディスクなどに保存したいときに設定します。
(記録された日時は後から消す事はできません。)

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "お楽しみ撮影"をタッチする



3 "日時表示記録"をタッチする



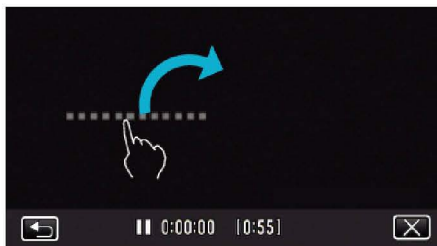
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻る をタッチすると、前画面に戻ります。

4 < または > で時計の種類を選び、"決定"をタッチする



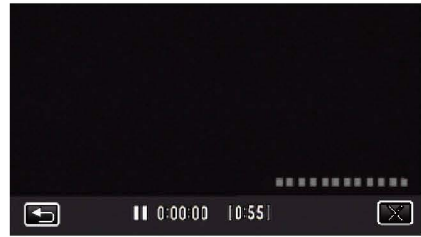
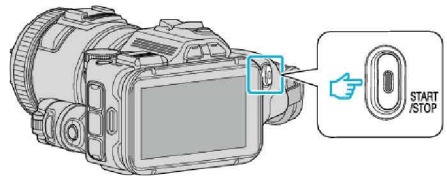
- "決定"をタッチすると、日時表示記録の注意が表示されます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。

5 指のマークのついた日時表示は、指でタッチしながら動かして表示位置を調整する



- 日時表示を指でタッチしたまま、画面をなぞるように動かします。

6 START/STOP ボタンを押して撮影を開始する



- もう一度、START/STOP ボタンを押すと、撮影を停止します。
- 戻る をタッチすると、時計の種類を選択する画面に戻ります。
- × をタッチすると、"日時表示記録"を終了します。
(撮影以外の操作を行う場合は × をタッチして、"日時表示記録"を解除してください。)

メモ：

- タイムラプス撮影でも設定できます。

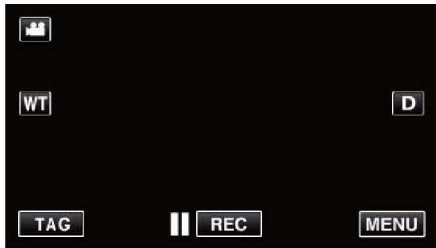
ご注意：

- 記録された日時は後から消す事はできません。
- 高速撮影設定中は撮影日時を記録して撮影することはできません。

残量時間を確認する

SD カードに記録できる動画の残量時間、およびバッテリー残量を確認できます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "インフォ"をタッチする



- 静止画を選んでいるときは、手順4へ進んでください。

3 残量時間を表示する



- 動画撮影モードのときのみ、残量時間が表示されます。
- をタッチすると、バッテリー残量が表示されます。
- AC アダプターを接続しているときは、 は表示されません。
- 表示を終了するにはXをタッチします。

4 バッテリー残量を表示する



- をタッチすると、動画撮影のときは残量時間の表示画面に戻ります。静止画撮影の場合は表示されません。
- X をタッチすると、表示を終了します。
- AC アダプターを接続しているときは、内蔵バッテリー残量が表示されません。
- 外付けバッテリーに関する情報はこの画面には表示されません。

メモ：_____

- 残量時間表示からも動画画質を変更できます。動画画質を選んでタッチしてください。

動画の撮影可能時間の目安

■ ビデオ記録フォーマット:MP4

画質	SDHC/SDXC カード						
	4GB	8GB	16GB	32GB	48GB	64GB	128GB
MP4 1080p (1920x1080)	10 分	25 分	55 分	1 時間 50 分	2 時間 50 分	3 時間 50 分	7 時間 50 分
MP4 720p (1280x720)	40 分	1 時間 20 分	2 時間 40 分	5 時間 30 分	8 時間 30 分	11 時間 20 分	22 時間 50 分
MP4 360p (640x360)	2 時間	4 時間	8 時間	16 時間 20 分	25 時間	33 時間 30 分	67 時間 10 分

- 撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

画像サイズ	SDHC/SDXC カード						
	4GB	8GB	16GB	32GB	48GB	64GB	128GB
4000x3000(12M)(4:3)	500	1100	2200	4500	6700	9000	9999
2816x2112(5.9M)(4:3)	1100	2200	4500	9200	9999	9999	9999
2048x1536(3.1M)(4:3)	2100	4200	8500	9999	9999	9999	9999
1920x1080(2M)(16:9)	3100	6500	9999	9999	9999	9999	9999
640x480(0.3M)(4:3)	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999

- 動画撮影中に静止画を撮影したとき、および撮影済みの動画から静止画を切り出したときは、1920 x 1080 のサイズで保存されます。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

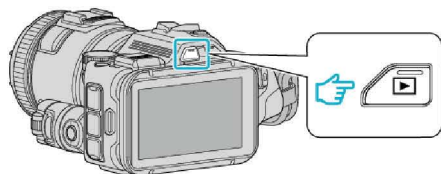
バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 (最大撮影時間)
BN-VF815	1 時間	2 時間

- "ライト"が"切"、"モニター明るさ"が"3"(標準)のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。(撮影予定時間の約3倍分のバッテリーを用意することをおすすめします)
- 撮影環境や使用方法によって、電池の消耗が変化することがあります。
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

動画を再生する

■ 動画再生画面への切り換えかた

- 1 □ ボタンを押して、再生モードにする



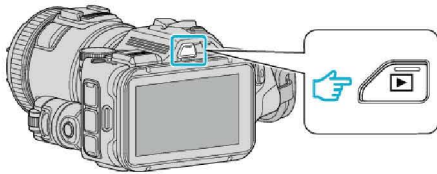
- 再生モードが になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、再生画面の をタッチして、モード切り換え画面を表示してください。
動画モード をタッチすると、モードが切り換わります。(本体の / ボタンでも切り換えることができます。)

ご注意：

- 重要な記録内容(データ)はバックアップしてください。
重要な記録内容(データ)は DVD や他の記録メディアに保存用としてコピーすることをおすすめします。
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。
- 免責事項
 - ・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - ・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
 - ・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。
 - ・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

撮影日などの情報を見る

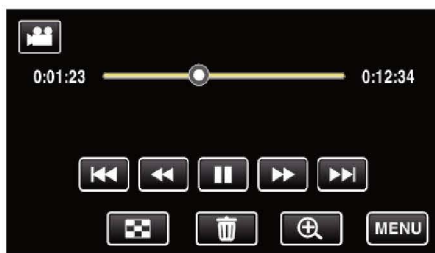
- 1 再生ボタンを押して、再生モードにする



- 2 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



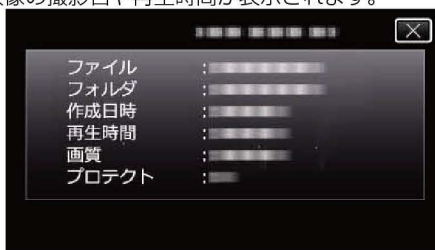
- 3 "MENU"をタッチする



- 4 "インフォ"をタッチする



- × をタッチすると、メニューを閉じます。
選んだ映像の撮影日や再生時間が表示されます。

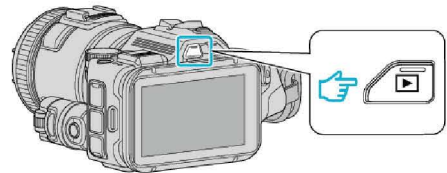


- 動画モードのときは、"ファイル"、"フォルダ"、"作成日時"、"再生時間"、"画質"、"プロテクト"が表示されます。
- 静止画モードのときは、"ファイル"、"フォルダ"、"作成日時"、"サイズ"、"プロテクト"が表示されます。

通常再生

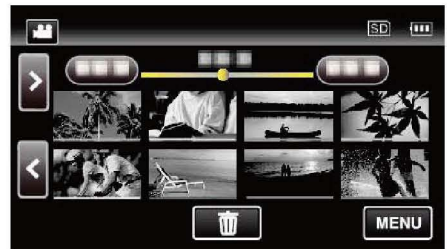
撮影した動画をそのまま再生します。

- 1 再生ボタンを押して、再生モードにする



- 再生モードが になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、再生画面の をタッチして、モード切り換え画面を表示してください。
動画モード をタッチすると、モードが切り換わります。(本体の / ボタンでも切り換えることができます。)

- 2 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- 再生中に をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- 最後に再生したファイルには が表示されます。
- サムネイル画像の下に、撮影した日付ごとに違う色のラインが表示されます。

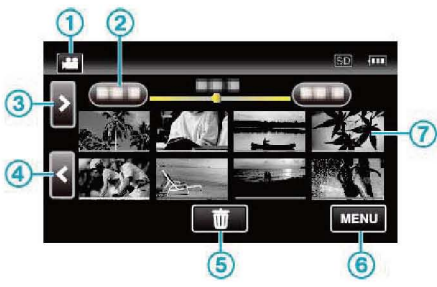
メモ:

- タッチパネルの他に、SET ボタンで再生と停止、調整ダイヤルでコマ送り、早送り、早戻しを行うことができます。

再生する

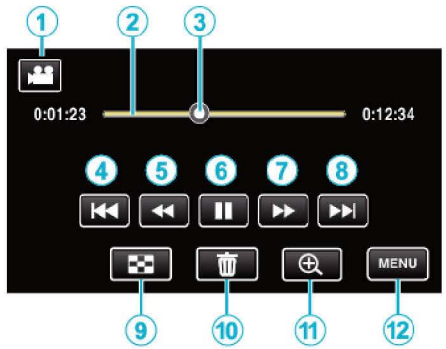
動画再生の操作ボタン

一覧表示中



	画面表示	説明
①	動画/静止画切換 📺/📷	動画モードと静止画モードを切り換えます。
②	日付	前/次の撮影日に移動します。
③	>	次の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
④	<	前の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
⑤	🗑️	削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑥	MENU	メニュー画面を表示します。
⑦	ファイル(映像)	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 画像の下線の色が同一のものは、同じ撮影日の動画をあらわします。

動画再生中



- 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

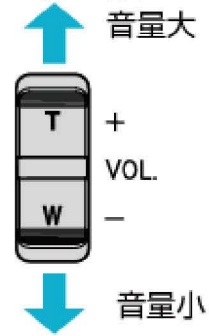
	画面表示	説明
①	動画/静止画切換 📺/📷	動画モードと静止画モードを切り換えます。
②	時系列バー	好みの位置をタッチすると、その位置から再生します。 再生位置表示を左右になぞると、表示を移動させた位置から再生を開始します。 好みの位置をタッチすると、その位置から再生します。
③	再生位置表示	映像のおおよその再生位置を表示します。
④	⏮️	シーンの先頭に戻ります。シーンの先頭で一時停止中の場合は、前のシーンに戻ります。 • 一時停止中の場合は、ズームレバーでも同様の操作ができます。
⑤	⏪️	早戻し(タッチするたびに速度が上がります) • 調節ダイヤルでも同様の操作ができます。 (ダイヤルを回すたびに速度が上がります)
⑤	⏮️⏪️	一時停止中にコマ戻し／一時停止中に押し続けると逆スロー再生 • コマ戻しは調節ダイヤルでも同様の操作ができます。
⑥	▶️/⏸️	再生／一時停止します。 • SET ボタンでも同様の操作ができます。
⑦	⏩️	早送り(タッチするたびに速度が上がります) • 調節ダイヤルでも同様の操作ができます。 (ダイヤルを回すたびに速度が上がります)
⑦	▶️⏭️	一時停止中にコマ送り／一時停止中に押し続けるとスロー再生 • コマ送りは調節ダイヤルでも同様の操作ができます。
⑧	⏭️	次のシーンに進みます。 • 一時停止中の場合は、ズームレバーでも同様の操作ができます。
⑨	⏹️	停止(一覧表示に戻ります)
⑩	🗑️	現在表示している動画を削除します。
⑪	🔍	ボタンを押すと、一時停止して拡大表示します。
⑫	MENU	メニュー画面を表示します。

- メモ：――
- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
 - 撮影した日付から目的の映像を探せます。
- "目的の映像を撮影日から探す" (p. 60)

- 画面に日時を表示して再生できます。
- " 日時表示 " (p. 102)
- バッテリー残量の表示は、使用状態におけるバッテリー残量の目安を表示します。
 - 高速撮影で撮影した動画の再生中、TIME CONTROL ボタンを押すたびに通常の撮影速度と高速撮影の撮影速度を切り換えることができます。

動画の音量を調節する

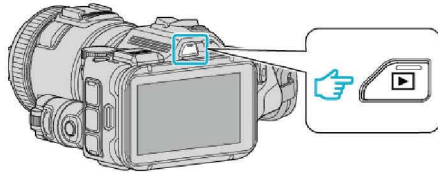
ズーム/音量レバーで音量を調節できます。



静止画を再生する

撮影した静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。

1 再生ボタンを押して、再生モードにする



- 再生モードが  になっているか確認します。
- 動画モード  になっているときは、再生画面の  をタッチして、モード切り換え画面を表示してください。
静止画モード  をタッチすると、モードが切り換わります。(本体の  /  ボタンでも切り換えることができます。)

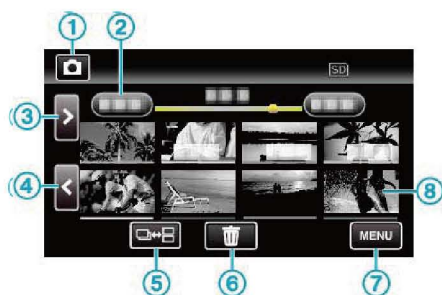
2 ファイル(静止画)をタッチして、再生を開始する



- 再生中に  をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- 最後に再生したファイルには  が表示されます。
- サムネイル画像の下に、撮影した日付ごとに違う色のラインが表示されます。

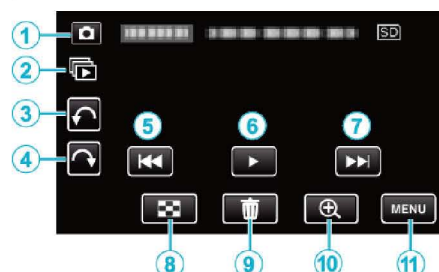
静止画再生の操作ボタン

一覧表示中



	画面表示	説明
①	動画/静止画切換 🎥/📷	動画モードと静止画モードを切り換えます。
②	日付	前/次の撮影日に移動します。
③	>	次の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
④	<	前の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
⑤	🔍↔️📄	サムネイル表示がグループ表示と一覧表示に切り換わります。
⑥	🗑️	削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑦	MENU	メニュー画面を表示します。
⑧	ファイル(静止画)	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。

静止画再生中



- 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

	画面表示	説明
①	動画/静止画切換 🎥/📷	動画モードと静止画モードを切り換えます。
②	📅	連写した静止画を連続再生します。
③	↶	タッチするたびに、左に 90°回転します。
④	↷	タッチするたびに、右に 90°回転します。
⑤	⏮	前の静止画に戻ります。 • ズームレバーでも操作できます。 • 調節ダイヤルでも操作ができます。
⑥	▶/⏸	スライドショーを開始/一時停止します。 • SET ボタンでも操作ができます。 "スライドショーで再生する" (📖 p. 60)
⑦	⏭	次の静止画に進みます。 • ズームレバーでも操作できます。 • 調節ダイヤルでも操作ができます。
⑧	📄	一覧表示に戻ります。
⑨	🗑️	現在表示している静止画を削除します。
⑩	🔍	再生中の静止画を拡大します。
⑪	MENU	メニュー画面を表示します。
-	◀	逆転再生します。 • スライドショー再生中に表示します。

メモ：

- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
- 再生中に、静止画を左右いずれかに 90°回転させることができます。回転は表示中の画像にのみ行えます。
- 撮影した日付から目的の映像を探せます。多くなってきた映像から探すのに便利です。

"目的の映像を撮影日から探す" (📖 p. 60)

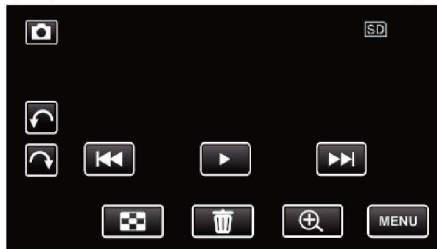
ご注意：

- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

再生する

スライドショーで再生する

静止画はスライドショー機能を使って再生できます。
静止画の再生中に▶をタッチすると、スライドショーが始まります。

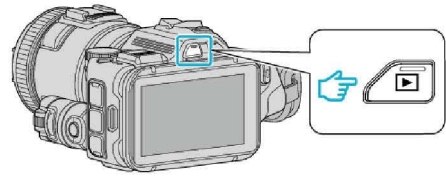


"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 59)

目的の映像を撮影日から探す

撮影した映像が多いと、見たい映像を一覧表示から探すのが大変です。
そんなときは、見たい映像を検索してみましょう。
撮影日から映像を検索して再生できます。

- 1 再生ボタンを押して、再生モードにする



- 2 "MENU"をタッチする



- 動画モード、静止画モードのどちらでも検索することができます。
※ 画面は動画モードです

- 3 "再生設定"をタッチする



- 4 "日付検索"をタッチする



- 5 撮影日をタッチしたあとに、"次へ"をタッチする



- 選択した撮影日を取り消す場合は、その日付を再度タッチしてください。

6 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- 動画モード時には動画を、静止画モード時には静止画を選ぶことができます。
- 選んだ日に撮影したファイル(映像)のみ表示されます。
- × をタッチすると検索を終了し、通常の一覧表示(サムネイル表示)に戻ります。

選んだ日付の映像を削除するには：———
 一覧表示(サムネイル表示)で をタッチすると、不要な映像を削除できます。

"不要な映像を削除する" (p. 65)

テレビにつないで見る

本機をテレビにつないで見ることができます。テレビの種類や接続するケーブルによって、テレビに映る画質が変わります。お使いのテレビに最適な方法で接続してください。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

"HDMI 端子とつないで見る" (p. 62)

"AV 端子とつないで見る" (p. 63)

- テレビに日付を表示するには、"日時表示"と"テレビ表示"をそれぞれ"入"に設定してください。

"日時表示" (p. 102)

"テレビ表示" (p. 108)

テレビの表示が不自然なとき

症状	対処
テレビに正常に表示されない	• ケーブルを抜き差ししてください。 • 本機の電源を入れ直してください。 • バッテリー残量が少ないときは、映像が正常に表示されないことがあります。AC アダプターをお使いください。
テレビに縦長に映る	• "出力設定"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。 "ビデオ出力" (p. 108)
テレビに横長に映る	• テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	• テレビ側で画面を調整してください。
HDMI CEC が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない	• HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。 "HDMI 機器制御"を"切"にしてください。 "HDMI 機器制御" (p. 108)
表示言語が変わった	• 違う言語に設定したテレビと HDMI ミニケーブルで接続するときに発生する場合があります。

ご注意：———

- ファイルにアクセスしているときは、記録メディアを出したり、電源を消したりしないでください。動作中にバッテリーの残量がなくなったら、データが破損する原因になりますので、必ず付属の AC アダプターを使用してください。記録メディアのデータが壊れた場合、メディアをフォーマットしてください。

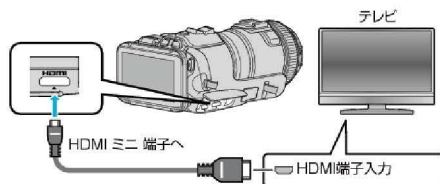
再生する

HDMI 端子とつないで見る

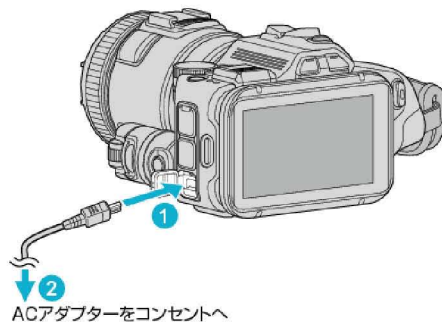
ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI ミニ端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。
- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

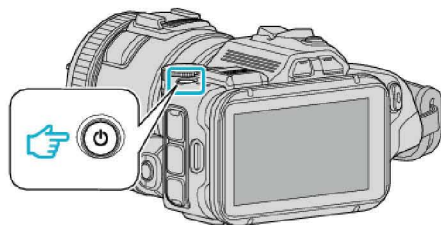
1 テレビに接続する



2 本機に AC アダプターをつなぐ



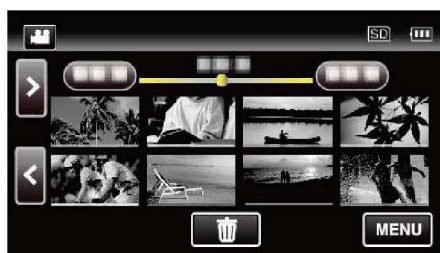
3 電源を入れる



4 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (p. 54)

"静止画を再生する" (p. 58)

メモ：

- 接続に応じて、"HDMI 出力"の設定を変更してください。

"HDMI 出力" (p. 108)

- お使いのテレビの機種によっては、HDMI ミニケーブルで接続したときに、映像や音声が正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
 - 1) HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。
 - 2) 本機の電源を入れ直してください。
- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

テレビとの HDMI 連動機能を使う

本機と HDMI CEC 規格に準拠したリンク連動機能対応テレビを HDMI ミニケーブルで接続すると、本機とテレビを連動させることができます。

- HDMI CEC (Consumer Electronics Control) は HDMI ケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

メモ：

- すべての HDMI 対応機器が HDMI CEC 規格に対応しているわけではありません。非対応機器を接続した場合、本機の HDMI 機器制御は動きません。
- すべての HDMI CEC 対応機器との動作を保証するものではありません。
- HDMI CEC 対応機器であっても各機器の仕様により搭載機能が異なる場合がありますので、本機との連動機能がすべて働くわけではありません。(お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください)
- 接続機器によっては、意図しない動作をする場合があります。このようなときは、「HDMI 機器制御」を「切」にしてください。

「HDMI 機器制御」(p. 108)

準備

- HDMI ミニケーブルで本機とテレビを接続する

「HDMI 端子とつないで見る」(p. 62)

- テレビの電源を入れ、HDMI CEC に関する設定を「入」にする (お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください)
- 出力設定メニューの「HDMI 機器制御」を「入」にする

「HDMI 機器制御」(p. 108)

操作方法 1

- 1 本機の電源を入れる
- 2 再生モードにする
- 3 HDMI ミニケーブルで接続する
 - 自動的に、テレビの入力が HDMI 入りに切り換わります。

操作方法 2

- 1 テレビの電源を切る
 - 自動的に、本機の電源が切れます。

メモ：

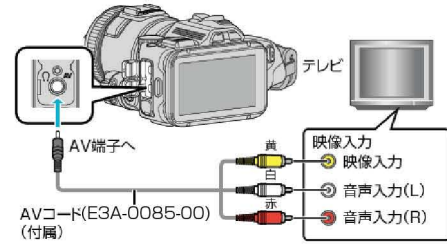
- 接続したテレビによって、本機の電源を入れると、自動的にテレビで選択した表示言語に換わります。
(本機がテレビで選択した表示言語に対応できるときのみ) テレビと違う表示言語を使いたいときは、「HDMI 機器制御」を「切」にしてください。
- 本機の表示言語を換えても、テレビの表示言語は自動的に換わりません。
- アンプやセレクターなどを接続したときに正常に動作しないことがあります。「HDMI 機器制御」を「切」にしてください。
- HDMI CEC が正常に動作しない場合、本機の電源を入れ直してください。

AV 端子とつないで見る

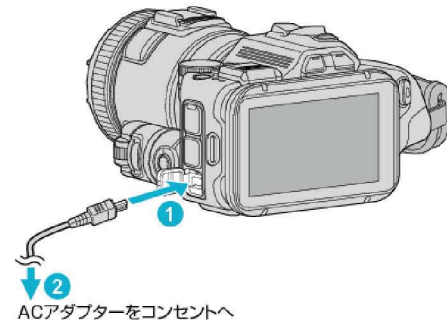
本機の AV 端子に付属の AV コード(品番:E3A-0085-00)を接続すると、映像をテレビで再生できます。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

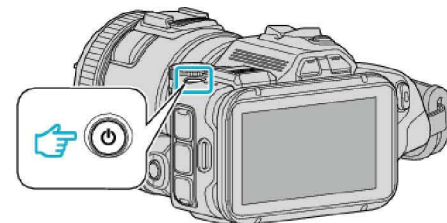
1 テレビに接続する



2 本機に AC アダプターをつなぐ



3 電源を入れる



4 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (再生 p. 54)

"静止画を再生する" (再生 p. 58)

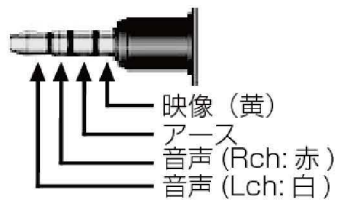
メモ: _____

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- 専用 AV コード(品番:E3A-0085-00)について

4 極ミニプラグ(映像/音声用)の配線仕様は下図のとおりです。

紛失等でお買い求めの際は、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<http://www.lp-d.co.jp/products/support.html>



不要な映像を削除する

記録メディアの容量が少なくなってきたら、不要な動画や静止画を削除しましょう。

映像を削除すると、記録メディアの空き容量を増やすことができます。

"表示(再生)しているファイルを削除する" (p. 65)

"選んで削除する" (p. 65)

メモ：

- 一度削除した映像は、元に戻せません。
- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。
プロテクトを解除してから、削除してください。
- "映像を保護する" (p. 66)
- 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。

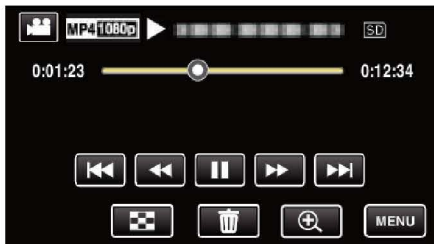
表示(再生)しているファイルを削除する

表示(再生)しているファイルを削除します。

ご注意：

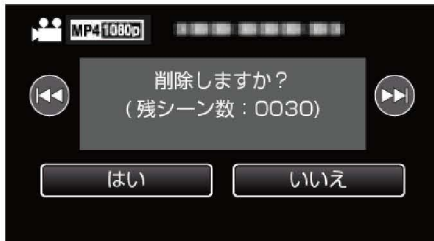
- 一度削除した映像は、元に戻せません。

1 画をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

2 "はい"をタッチする



- ◀◀/▶▶をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 全てのファイルが削除されると、一覧表示の画面に戻ります。

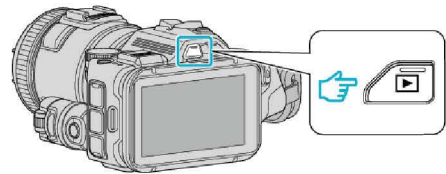
選んで削除する

削除する映像を選んで、まとめて削除します。

ご注意：

- 一度削除した映像は、元に戻せません。

1 画ボタンを押して、再生モードにする



- 画または画をタッチして、動画または静止画を選んでください。
- 撮影画面の画または画をタッチすると、モード切り換え画面が表示されます。
画をタッチすると、動画モード画に切り換わります。
画をタッチすると、静止画モード画に切り換わります。
(本体の画/画ボタンでも切り換えることができます。)

2 画をタッチする



3 削除したいファイル(映像)をタッチする

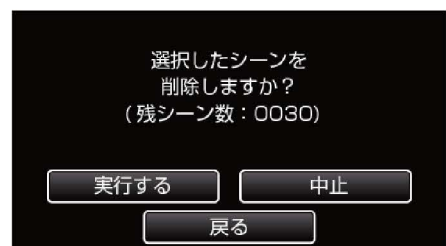


- タッチしたファイルに✓が表示されます。
✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

4 "決定"をタッチする



5 "実行する"をタッチして、削除する



- 削除が終了したら、"OK"をタッチしてください。
- 削除を取り消したい場合は、"中止"をタッチしてください。

映像を保護する

大切な動画/静止画を誤って削除してしまうことのないように、大事な映像は保護しておきましょう。

"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (p. 66)

"選んで保護する/選んで保護を解除する" (p. 66)

ご注意:

- 記録メディアをフォーマットした場合は、保護している映像も削除されてしまいますのでご注意ください。

表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する

表示(再生)しているファイルを保護、または保護されているファイルを解除します。

1 "MENU"をタッチする



2 "編集"をタッチする



3 "プロテクト/解除"をタッチする



4 "はい"をタッチする

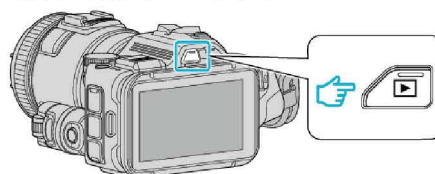


- ◀◀/▶▶をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 設定が終わったら、「OK」をタッチしてください。

選んで保護する/選んで保護を解除する

映像を選んでまとめて保護、または解除します。

1 再生ボタンを押して、再生モードにする



- または をタッチして、動画または静止画を選んでください。
- 撮影画面の をタッチすると、モード切り換え画面が表示されます。
 をタッチすると、動画モード に切り換わります。
 をタッチすると、静止画モード に切り換わります。
(本体の ボタンでも切り換えることができます。)

2 "MENU"をタッチする



3 "編集"をタッチする



4 "プロテクト/解除"をタッチする



5 保護したい、または保護を解除したいファイル(映像)をタッチする



- タッチしたファイルに✓が表示されます。
✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- 既に保護されているファイルは と✓が表示されます。
保護を解除するには、解除したいファイルをタッチし、✓を消してください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

6 "決定"をタッチして、終了する

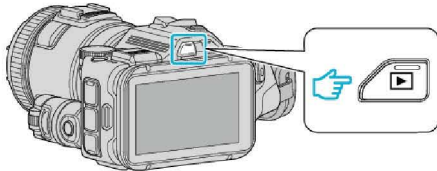


- 選択したファイルに、保護を意味する **On** が表示されます。保護を解除したファイルからは、**On** の表示が消えます。

動画の1シーンを静止画にする

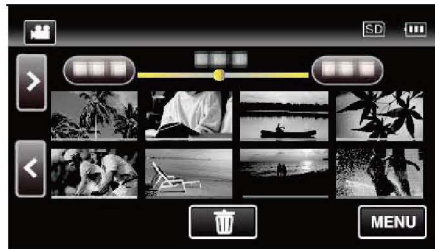
撮影した動画のお気に入りの場면을静止画に切り出して保存できます。

1 再生ボタンを押して、再生モードにする

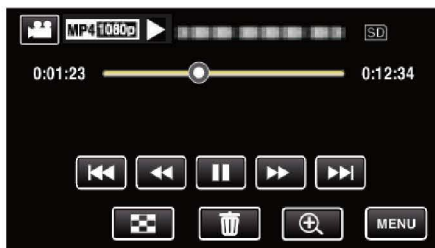


- 再生モードが **再生** になっているか確認します。
- 静止画モード **静止** になっているときは、再生画面の **静止** をタッチして、モード切り換え画面を表示してください。動画モード **動画** をタッチすると、モードが切り換わります。(本体の **静止/動画** ボタンでも切り換えることができます。)

2 動画を選択してタッチする

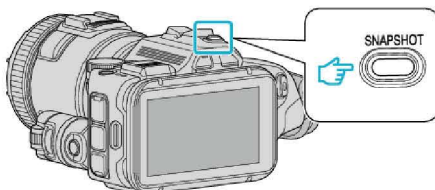


3 お望みの場面で一時停止 **||** をタッチする



- 一時停止したあとに、操作ボタンのコマ送り **||>** とコマ戻し **<||** をタッチして、切り出したい場면을微調整できます。

4 SNAPSHOT ボタンを押す



メモ： _____

- 切り出した静止画のサイズは、1920×1080 になります。

■ "静止画切り出しタイプ"を選ぶ

"再生設定"メニューの "静止画切り出しタイプ"で、選択してください。

項目	内容
1 コマ	静止画を1枚撮ります。
9コマ連続	静止画を9枚連写します。
9マルチ	静止画を9枚連写し、1枚の静止画としてマルチ表示します。

"9コマ連続"や"9マルチ"は、データの最後の方では切り出し枚数が少なくなります。

■ "静止画切り出し間隔"を選ぶ

"再生設定"メニューの "静止画切り出し間隔"で、選択してください。

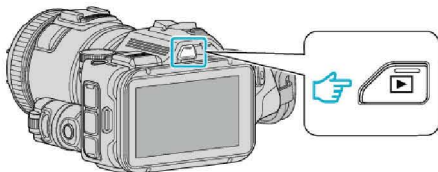
項目	内容
2フレーム	2フレームの間隔で切り出します。
4フレーム	4フレームの間隔で切り出します。
8フレーム	8フレームの間隔で切り出します。
15フレーム	15フレームの間隔で切り出します。
30フレーム	30フレームの間隔で切り出します。

動画を必要な部分だけにする(トリミング)

動画の必要な部分だけを切り出してコピーし、新しい動画として保存できます。

- 編集した元の動画は、そのまま残ります。

1 再生ボタンを押して、再生モードにする



- 再生モードが になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、撮影画面の をタッチして、モード切り換え画面を表示してください。
動画モード をタッチすると、撮影モードが切り換わります。(本体の ボタンでも切り換えることができます。)

2 "MENU"をタッチする



3 "編集"をタッチする



4 "トリミング"をタッチする



5 編集したい動画をタッチする



6 切り出し開始位置で をタッチして一時停止し、"A"をタッチする



- "A"をタッチすると、開始位置が決定します。
- 開始位置を決めたら、 をタッチして再生を再開してください。

7 切り出し終了位置で をタッチして一時停止し、"B"をタッチする



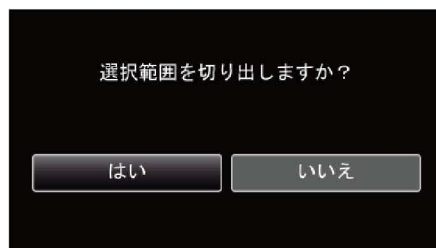
- "B"をタッチすると、終了位置が決定します。
- 開始位置または終了位置を修正するときは、お好みの場面(位置)で "A"または "B"をタッチしてください。

8 "決定"をタッチする



- "決定"をタッチすると、切り出し範囲が確定します。

9 "はい"をタッチする



- コピーが完了したら、"OK"をタッチしてください。
- コピー完了後、コピーした動画が一覧表示に追加されます。

メモ:

- 分割点が選んだ場面から多少ずれることがあります。
- タグファイルはトリミングされません。

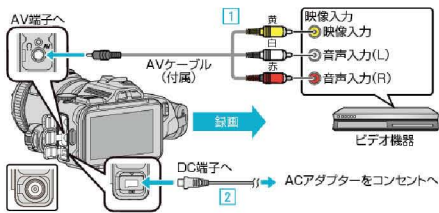
ビデオデッキにつないで VHS テープにダビングする

ビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。

- テレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

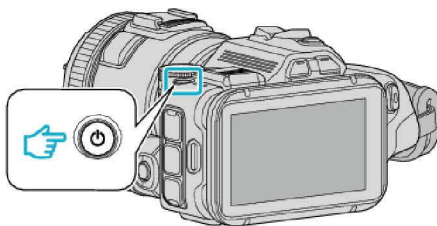
1 電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずす

2 ビデオ機器に接続する

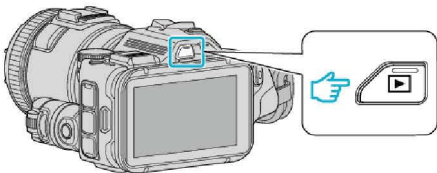


- 1 付属の AV ケーブルでつなぐ
- 2 本機に AC アダプターをつなぐ
 - 付属の AC アダプターを使用してください。

3 電源を入れる



4 再生ボタンを押して、再生モードにする



- 再生モードが になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、再生画面の をタッチして、モード切り換え画面を表示してください。
動画モード をタッチすると、モードが切り換わります。(本体の / ボタンでも切り換えることができます。)

5 テレビ・ビデオ機器の録画の準備をする

- 対応する外部入力に切り換えます。
- ビデオデッキにビデオテープを入れます。

6 本機の再生の準備をする

- "出力設定"メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("4:3"または"16:9")に合わせます。

"ビデオ出力" (p. 108)

7 録画を開始する

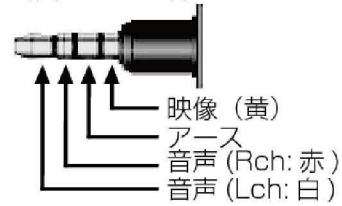
- 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
"動画を再生する" (p. 54)
- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

メモ:

- 専用 AV コード(品番:E3A-0085-00)について

4 極ミニプラグ(映像/音声用)の配線仕様は下図のとおりです。
紛失等でお買い求めの際は、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<http://www.lp-d.co.jp/products/support.html>



メモ:

- 記録日時をダビングしたいときは、"再生設定"メニューの"日時表示"を"入"にしてください。また、"出力設定"メニューの"テレビ表示"を"入"にしてください。

"日時表示" (p. 102)

"テレビ表示" (p. 108)

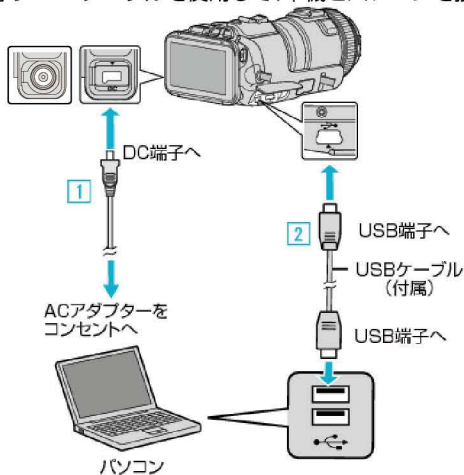
保存する

Windows パソコンに保存する

次の方法でファイルをパソコンにコピーしてください。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- ① 本機の DC 端子に付属の AC アダプターをつなぎ、コンセントにつないでから電源を入れる
- ② 付属の USB ケーブルを使用して、本機とパソコンを接続する



- 画面が切り換わったら、パソコン側で操作してください。

- 2 (Windows8 / 8.1)
システムツールの "コンピューター" を右クリックしてチェックを入れ、"JVCCAM_SD" アイコンをクリックする。
(Windows7 / Windows Vista)
スタートメニューから "コンピュータ" を選んで、"JVCCAM_SD" アイコンをクリックする。
(Windows XP)
スタートメニューから "マイコンピュータ" を選んで、"JVCCAM_SD" アイコンをクリックする。
- 3 コンピューターの任意のフォルダにファイルをコピーする。(デスクトップなど)

ご注意 : _____

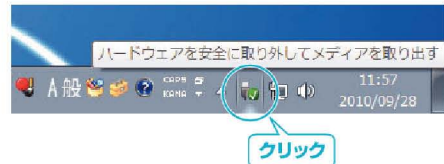
- ビデオカメラと PC を USB ケーブルで接続しているときは、記録メディアは読み取り専用になります。

メモ : _____

- ファイルを編集・鑑賞するには MP4(動画) / JPEG(静止画) に対応したソフトウェアを使用してください。
- 上記のパソコンでの操作は、システムによって異なることがあります。

本機をパソコンから取りはずす

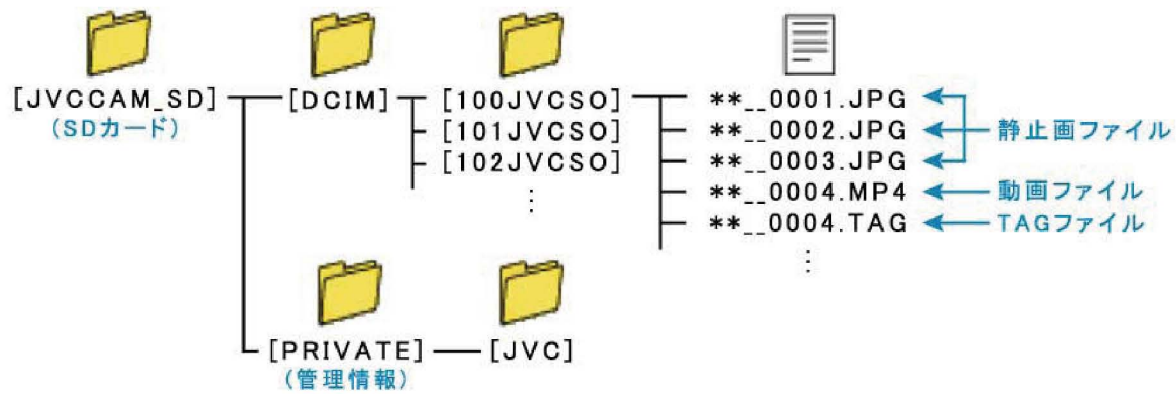
1 "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする



- 2 "USB 大容量記憶装置" をクリックする
- 3 (Windows Vista の場合) "OK" をクリックする
- 4 USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の電源を切る

ファイルとフォルダの一覧について

SD カードには、フォルダとファイルが次のように作成されています。フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。



ご注意:

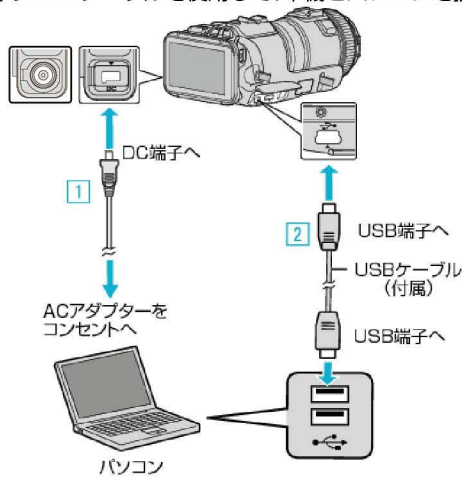
- ビデオカメラと PC を USB ケーブルで接続しているときは、記録メディアは読み取り専用になります。

Mac コンピューターに保存する

次の方法でファイルを Mac コンピューターにコピーしてください。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- ① 本機の DC 端子に付属の AC アダプターをつなぎ、コンセントにつないでから電源を入れる
- ② 付属の USB ケーブルを使用して、本機とパソコンを接続する



- デスクトップに "JVCCAM_SD" アイコンが表示されます。

2 コンピュータに保存する

- 以降の操作は、Mac コンピューターで実行してください。
- 編集ソフトとしては、Final Cut Pro をおすすめします。

ご注意：

- ビデオカメラと PC を USB ケーブルで接続しているときは、記録メディアは読み取り専用になります。

メモ：

- ファイルを編集・鑑賞するには MP4(動画) / JPEG(静止画) に対応したソフトウェアを使用してください。
- 本機をコンピューターから取りはずすとき、デスクトップに表示されている "JVCCAM_SD" のアイコンをゴミ箱にドラッグ & ドロップしてください。
- Final Cut Pro は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

無線 LAN(Wi-Fi) でできること

本機は無線 LAN 機能を搭載しています。
パソコンと無線で接続して、次のようなことができます。

機能名	できること
ダイレクト接続	• アクセスポイント（無線 LAN ルーター）を使わずにパソコンと 1 対 1 で直接接続（ダイレクト接続）して、ビデオカメラを遠隔操作できます。遠隔操作中は動画撮影が可能です。 "直接接続して遠隔操作する（ダイレクト接続）"（ p. 75）
アクセスポイント接続	• アクセスポイント（無線 LAN ルーター）経由でパソコンと接続して、ビデオカメラを遠隔操作できます。遠隔操作中は、動画撮影が可能です。 "アクセスポイント経由で遠隔操作する（アクセスポイント接続）"（ p. 77）
タギング	• 撮影中お好みの場所にタグを記録するとスポーツセンシング社製 PC アプリケーションで見たい場所をすぐに探せます。

本書の表現について：――

- 本書では、タッチパネルの操作を「タッチする」と表現しています。

無線 LAN (Wi-Fi) についての注意

無線 LAN 機能についてのご注意

- すべての機器で動作を保証するものではありません。
- 防災や防犯を目的とした機能ではありません。
- 電源の切り忘れを防止するため、10 日間連続で使用した場合、電源を自動的に切ります。
- 無線 LAN のセキュリティについて
無線 LAN は、LAN ケーブルの代わりに、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能になるという利点があります。その反面電波が届く範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり不正に進入されたりなどのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。
無線 LAN 環境に接続する場合は、お使いの無線 LAN 機器の取扱説明書をご確認いただき、セキュリティを設定してからお使いください。セキュリティを設定せずに使用いただくとユーザー名やパスワードを盗み見られたり、ネットワーク内に侵入されたりする危険性が高まります。
- 無線 LAN の仕様上、通常の範囲を超えた手段、または現時点では予測不能な手段によってセキュリティが破られる可能性がありますので、ご理解のうえお使いください。
- 無線 LAN とネットワークのセキュリティについては、無線 LAN 機器の製造元にお問い合わせください。
- 本機能を使用したことでセキュリティ上の問題やトラブル、損害が発生した場合、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品で使用する電波について

本製品は、ISM バンド(2.4 GHz 帯)の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

■ 以下の近くでは使用しないでください。

- 電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- Bluetooth 機器

上記の機器などは、本製品で使用している電波と同じ周波数帯を使用しています。上記機器の近くで本製品を使用すると、電波の干渉が発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり遅くなったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

■ テレビ／ラジオの近くでは、本製品を出来るだけ使用しないでください。

テレビ／ラジオなどは、無線 LAN 製品とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線 LAN 製品に近づけた場合は、本製品を含む無線 LAN 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。

■ 通信する無線 LAN 機器の間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信しにくいことがあります。

本製品で使用している電波は、鉄筋や金属およびコンクリートなどを通過しません。
部屋の壁にそれらが使用されている場合、フロア間でも通信しにくいことがあります。
※無線 LAN 機器間に人や体の一部が入っても通信しにくいことがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

接続すると不正アクセスとみなされ、法律に触れる場合があります。

■ お買い上げの国以外では、無線 LAN 機能は使わないでください。

国によって電波の使用に制限があるため、法律によって罰せられることがあります。

国外への輸出・持ち出しについて

米国政府の定める輸出規制国(キューバ、イラク、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、ルワンダ、シリアなど。2012 年 12 月時点)に持ち出す場合は、米国政府の許可が必要な場合があります。

詳細は、アメリカ大使館 商務部にお問い合わせください。

直接接続して遠隔操作する(ダイレクト接続)

アクセスポイント(無線 LAN ルーター)を使わずに、パソコンと直接接続(ダイレクト接続)して、ビデオカメラを遠隔操作できます。

- 遠隔操作中は、動画撮影が可能です。



ご注意:

- 防災や防犯を目的とした機能ではありません。
- 電源の切り忘れを防止するため、10 日間連続で使用した場合、電源を自動的に切ります。
- カメラとパソコンが離れているとき、環境によってはダイレクト接続では繋がりにくいことがあります。その場合は、アクセスポイント(無線 LAN ルーター)を使用して接続してください。

"アクセスポイント経由で遠隔操作する(アクセスポイント接続)"
(ES p. 77)

- お使いの機器や接続する環境によっては、接続に時間がかかることがあります。

必要なもの

- パソコンとスポーツセンシング社製 PC アプリケーション
(無線 LAN が WPA2 に対応している必要があります)

事前に必要な設定

動画の撮影速度を 60fps に設定してください。それ以外の設定では無線 LAN 機能は使用できません。

以下の手順にしたがって、ビデオカメラおよびパソコンの設定をおこなってください。

Wi-Fi Protected Setup(WPS) 対応のパソコンでは、「簡単登録(WPS) 接続」をご利用になれます。

* WPS とは…簡単なボタン操作で、無線 LAN 機器同士を接続する方法です。

無線 LAN を使う

パソコンとビデオカメラを無線で接続する

次のいずれかの方法で、パソコンとビデオカメラを無線で接続します。

■ 無線 LAN (Wi-Fi) パスワードの入力による接続方法

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)
ビデオカメラが撮影モード (60fps) になっていることを確認します。



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi" メニューの "ダイレクト接続" (📶) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "開始" (➡) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 ビデオカメラの画面に表示されている SSID と PASS を確認する



- 6 手順5で確認した SSID をパソコンのワイヤレスネットワーク選択画面から選択し、PASS をパスワード画面に入力して接続する。
(パソコンの操作)

- パソコンを無線 LAN で接続する方法は、お使いの端末の取扱説明書をご確認ください。

- 7 接続が完了し、ビデオカメラ画面に 📶 が表示される



- "インフォ" ボタンをタッチするとカメラ本体の SSID、パスワード (PASS) が表示されます。
パソコンと接続中は、"インフォ" ボタンの操作はできません。

- 8 スポーツセンシング社製 PC アプリケーションを起動する

■ 簡単登録 (WPS) による接続方法

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)
ビデオカメラが撮影モードになっていることを確認します。



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi" メニューの "ダイレクト接続" (📶) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



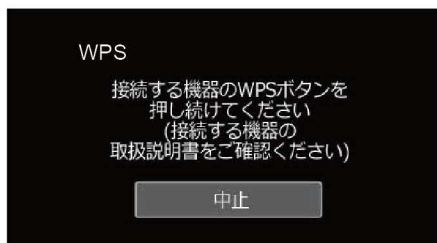
- 4 "開始" (➡) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "WPS"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 6 2分以内に、パソコンの WPS を有効にする。
パソコンの WPS を有効にする方法は、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。



- 7 パソコンとの無線 LAN 接続が完了すると、ビデオカメラ画面に📶が表示される。



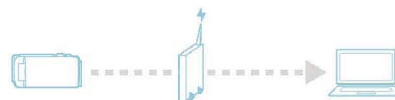
- "インフォ" ボタンをタッチするとカメラ本体の SSID、パスワード (PASS) が表示されます。
パソコンと接続中は、"インフォ" ボタンの操作はできません。

- 8 スポーツセンシング社製 PC アプリケーションを起動する

アクセスポイント経由で遠隔操作する (アクセスポイント接続)

アクセスポイント (無線 LAN ルーター) を介してビデオカメラとパソコンを無線で接続します。接続したパソコンからビデオカメラを遠隔操作できます。

- 遠隔操作中は動画撮影が可能です。



ご注意: —

- 防災や防犯を目的とした機能ではありません。
- 電源の切り忘れを防止するため、10 日間連続で使用した場合、電源を自動的に切ります。

必要なもの

- パソコンとスポーツセンシング社製 PC アプリケーション
- 無線 LAN ルーター (Wi-Fi の認証ロゴがついた製品をお使いください)

メモ: —

- お使いの無線 LAN ルーターの機種や電波状況によっては、つながりにくい場合や十分な速度がでない場合があります。
- 動画の撮影速度を 60fps に設定してください。それ以外の設定では無線 LAN 機能は使用できません。

操作方法

ビデオカメラにアクセスポイント（無線 LAN ルーター）を登録する

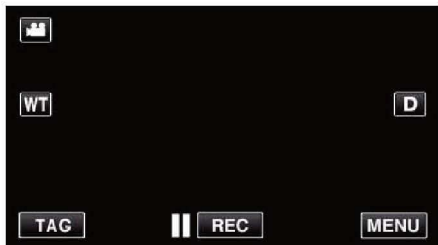


次の方法でビデオカメラをアクセスポイントに接続します。

■ アクセスポイントを検索して、登録する

あらかじめ、お使いのアクセスポイント（無線 LAN ルーター）の名称（SSID）と接続パスワードをご用意ください。

- 1 "MENU" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (無線) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "アクセスポイント" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "追加" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 6 "検索" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 検索結果がビデオカメラ画面に表示されます。
- 周囲にアクセスポイントがない場合、"アクセスポイントが見つかりません" のメッセージが表示されます。

- 7 検索結果リストから接続したいアクセスポイント名称 (SSID) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 8 任意のパスワードを登録する
(ビデオカメラの操作)



- 表示されたキーをタッチすると、文字を入力します。タッチするたびに文字が切り替わります。
例えば "ABC" のキーでは、1 回タッチすると "A"、2 回タッチすると "B"、3 回タッチすると "C" が入力されます。
- "消去" をタッチすると、文字が削除できます。
- "キャンセル" をタッチすると、終了します。
- "A/a/1" をタッチすると、入力を大文字、小文字、数字に変更できます。
- ← や → をタッチすると、左か右にスペース 1 つ分、移動できます。
- 無線 LAN ルーターがセキュリティで保護されていない場合は、パスワード入力不要です。

- 9 登録が完了したら、ビデオカメラ画面の "OK" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- この他に、"簡単登録 (WPS) で登録する"、"手動で登録する" または "PIN 方式で登録する" の方法があります。詳しくは "接続するアクセスポイントをビデオカメラに登録する (アクセスポイント)" (p.83) を参照ください。

アクセスポイント経由で接続する

アクセスポイント（無線 LAN ルーター）経由でビデオカメラとパソコンを接続します。

■ ビデオカメラをアクセスポイントに接続する

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)

ビデオカメラが撮影モードになっていることを確認します。



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi"アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi"メニューの"アクセスポイント接続"（📶）をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "開始"（➡）をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 アクセスポイントに接続されるまで待機する



- 6 接続が完了し、ビデオカメラ画面に📶が表示される



- "インフォ" ボタンをタッチするとネットワーク情報 (SSID、HTTP ポート、IP アドレス) が表示されます。

- 7 下記のようにパソコンをアクセスポイント（無線 LAN ルーター）に接続してから、スポーツセンシング社製 PC アプリケーションを起動する

パソコンを、アクセスポイント（無線 LAN ルーター）に接続する



- パソコンをアクセスポイント（無線 LAN ルーター）に接続します。
- 接続方法は、お使いの端末および無線 LAN ルーターの取扱説明書をご確認ください。
- パソコンがすでにアクセスポイント（無線 LAN ルーター）に接続されている場合は、この設定は不要です。

設定メニュー一覧

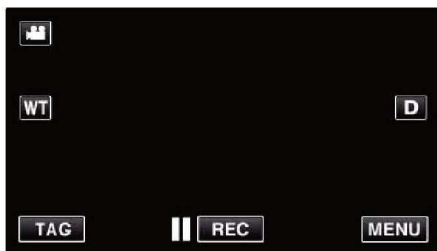
設定	内容
ダイレクト接続	ダイレクト接続について設定します。 ● パスワード ビデオカメラに無線 LAN 接続するためのパスワードを設定します。 "パスワードを設定する (ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)" (p. 81) ● 強制グループオーナー (初期値: "入") グループオーナー権限の強制取得をするか設定します。 ・切: Wi-Fi Direct 対応機器と接続できない場合に設定します。(切にすると、Wi-Fi Direct 非対応の機器からは接続できなくなります) ・入: 通常はこちらを使います。 "強制グループオーナーを設定する (ダイレクト接続)" (p. 82) ● HTTP ポート (初期値: "80") ビデオカメラにアクセスするときのポート番号を変更します。 "HTTP ポートを設定する (ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)" (p. 82)
アクセスポイント接続	アクセスポイント接続について設定します。 ● パスワード (初期値: "0000") ビデオカメラにアクセスするためのパスワードを選びます。 "パスワードを設定する (ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)" (p. 81) ● HTTP ポート (初期値: "80") ビデオカメラの HTTP ポートを設定する (ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)" (p. 82) "HTTP ポートを設定する (ダイレクト接続 / アクセスポイント接続)" (p. 82)
Wi-Fi 共通設定	ネットワークについて設定します。 ● アクセスポイント アクセスポイント (無線 LAN ルーター) の追加、削除、LAN 設定をします。 "接続するアクセスポイントをビデオカメラに登録する (アクセスポイント)" (p. 83) ● MAC アドレス (Media Access Control アドレス) ビデオカメラの MAC アドレスを表示します。 (上はアクセスポイント接続時、下はダイレクト接続時の MAC アドレスです。) "ビデオカメラの MAC アドレスを確認する" (p. 88) ● 設定ロック 他人にネットワーク設定を見られることを防ぐために、パスワードを設定します。 "ネットワーク設定をパスワードで保護する" (p. 88) ● 設定の初期化 ネットワーク設定を工場出荷時の設定値に初期化します。 "無線 LAN 設定を初期化する" (p. 89)

パスワードを設定する（ダイレクト接続 / アクセスポイント接続）

ビデオカメラにアクセスするときに必要なパスワードを設定します。

- 英・数・記号（ダイレクト接続：8～64文字 / アクセスポイント接続：8文字以内）で、大文字・小文字も区別されます。

1 "MENU"をタッチする (ビデオカメラの操作)

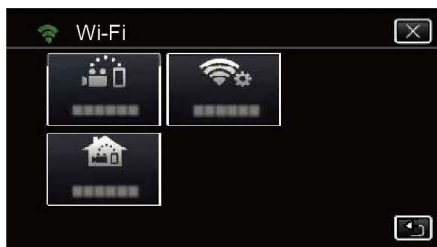


- トップメニューが表示されます。

2 "Wi-Fi"アイコンをタッチする (ビデオカメラの操作)



3 "ダイレクト接続" (📶) または "アクセスポイント接続" (🏠) をタッチする (ビデオカメラの操作)



4 "パスワード"をタッチする (ビデオカメラの操作)



5 任意のパスワードを登録する (ビデオカメラの操作)



- "キャンセル"をタッチすると、終了します。
- "A/a/1"をタッチすると、入力を大文字、小文字、数字に変更できます。
- ← や → をタッチすると、左か右にスペース 1 つ分、移動できます。

6 "決定"をタッチする (ビデオカメラの操作)

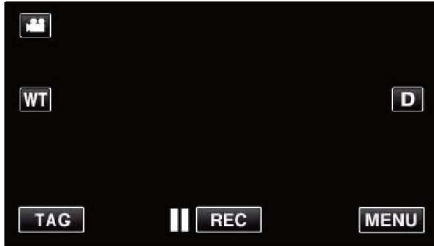
- "決定"をタッチするまで、入力した内容は保存されません。

- 工場出荷時に、パスワードは "0000" に設定されています。(アクセスポイント接続)
- 表示されたキーをタッチすると、文字を入力します。タッチするたびに文字が切り換わります。
例えば "ABC" のキーでは、1 回タッチすると "A"、2 回タッチすると "B"、3 回タッチすると "C" が入力されます。
- "消去"をタッチすると、文字が削除できます。

強制グループオーナーを設定する（ダイレクト接続）

グループオーナー権限の強制取得をするか設定します。

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi"メニューの "ダイレクト接続" (📶) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "強制グループオーナー"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "入"または"切"をタッチする



- 通常は、"入"に設定してください。
Wi-Fi Direct 対応機器と接続できない場合は、"切"に設定してください。

メモ：――

- "切"にすると、Wi-Fi Direct 非対応の機器からは接続できなくなります。

HTTP ポートを変更する（ダイレクト接続 / アクセスポイント接続）

ビデオカメラにアクセスするときのポート番号を変更します。

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "ダイレクト接続" (📶),もしくは"アクセスポイント接続" (📶) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "HTTP ポート"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 ポート番号を入力する
(ビデオカメラの操作)



接続するアクセスポイントをビデオカメラに登録する(アクセスポイント)

アクセスポイント(無線 LAN ルーター)に登録するには、以下の4つの方法があります。

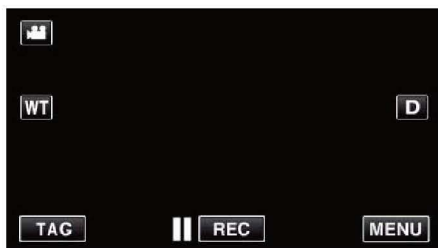
簡単登録(WPS)で登録する	この方法がもっとも簡単な登録方法です。WPS は、認証方式や無線 LAN の設定を自動的にを行い、簡単に機器同士の接続設定が登録できます。
検索して登録する	アクセスポイントを検索して探します。表示された検索結果からアクセスポイントを選び、登録します。
手動で登録する	アクセスポイントの名称、認証方式の設定を手動で入力して登録します。
WPS PIN 方式で登録する	ビデオカメラの WPS PIN コードをアクセスポイント側に入力して登録します。

メモ：

- 複数のアクセスポイントに登録すれば、アクセスポイントの一覧で接続したいものをタッチして接続先を変えられるようになります。

■ 簡単登録(WPS)で登録する

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi"(📶)アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "アクセスポイント"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "追加"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 6 "簡単登録(WPS)"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 7 2分以内に、アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の WPS を有効にする

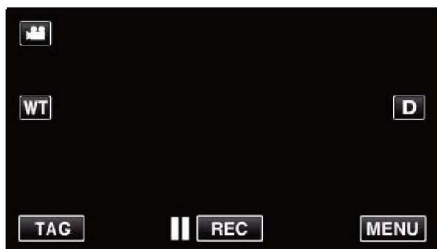
- WPS を有効にする方法は、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。

- 8 登録が完了したら、ビデオカメラ画面の "OK" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



■ 検索して登録する

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "アクセスポイント"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "追加"をタッチする
(ビデオカメラの操作)

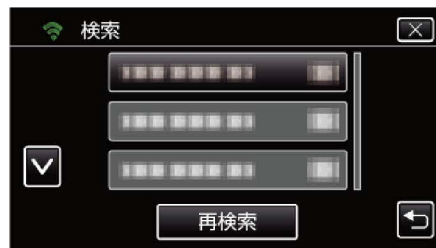


- 6 "検索"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 検索結果がビデオカメラ画面に表示されます。

- 7 検索結果リストから接続したいアクセスポイント名称 (SSID) をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 8 任意のパスワードを登録する
(ビデオカメラの操作)



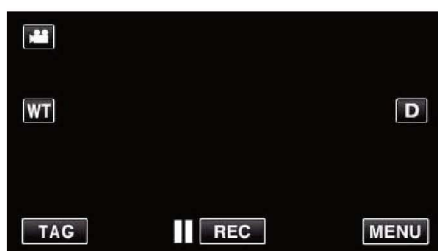
- 表示されたキーをタッチすると、文字を入力します。タッチするたびに文字が切り換わります。
例えば "ABC" のキーでは、1 回タッチすると "A"、2 回タッチすると "B"、3 回タッチすると "C" が入力されます。
- "消去" をタッチすると、文字が削除できます。
- "キャンセル" をタッチすると、終了します。
- "A/a/1" をタッチすると、入力を大文字、小文字、数字に変更できます。
- ← や → をタッチすると、左か右にスペース 1 つ分、移動できます。
- 無線 LAN ルーターがセキュリティで保護されていない場合は、パスワード入力不要です。

- 9 登録が完了したら、ビデオカメラ画面の "OK" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



■ 手動で登録する

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "アクセスポイント"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "追加"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 6 "手動"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 7 アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の名称(SSID)を入力して、"決定"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 表示されたキーをタッチすると、文字を入力します。タッチするたびに文字が切り換わります。
例えば "ABC" のキーでは、1 回タッチすると "A"、2 回タッチすると "B"、3 回タッチすると "C" が入力されます。
- "消去" をタッチすると、文字が削除できます。
- "キャンセル" をタッチすると、終了します。
- "A/a/1" をタッチすると、入力を大文字、小文字、数字に変更できます。
- ← や → をタッチすると、左か右にスペース 1 つ分、移動できます。

- 8 認証方式(セキュリティ)の種類を選ぶ
(ビデオカメラの操作)



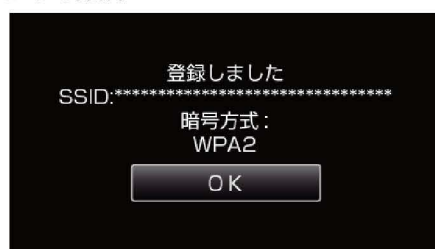
- お使いの無線 LAN ルーターの設定にあわせて選んでください

- 9 認証方式を "なし" 以外に設定した場合は、パスワードを入力して "決定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



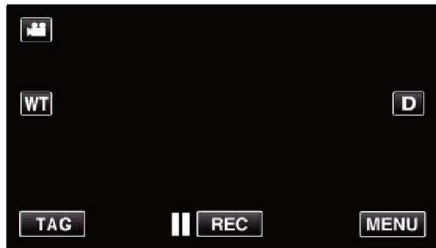
- 表示されたキーをタッチすると、文字を入力します。タッチするたびに文字が切り換わります。
例えば "ABC" のキーでは、1 回タッチすると "A"、2 回タッチすると "B"、3 回タッチすると "C" が入力されます。
- "消去" をタッチすると、文字が削除できます。
- "キャンセル" をタッチすると、終了します。
- "A/a/1" をタッチすると、入力を大文字、小文字、数字に変更できます。
- ← や → をタッチすると、左か右にスペース 1 つ分、移動できます。

- 10 登録が完了したら、ビデオカメラ画面の "OK" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



■ WPS PIN 方式で登録する

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi" (📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "アクセスポイント"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "追加"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 6 "WPS PIN 方式"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- PIN コードが表示されます。

- 7 ビデオカメラに表示された PIN コードをアクセスポイント(無線 LAN ルーター)に入力する

- PIN コードの入力方法は、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。

- 8 "開始"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 無線 LAN ルーターに PIN コードを入力してから "開始"をタッチしてください。
(入力前に "開始"をタッチすると接続できません)

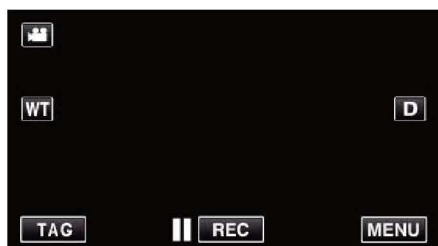
- 9 登録が完了したら、ビデオカメラ画面の "OK"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



アクセスポイント（無線 LAN ルーター）毎に、カメラの LAN 設定を変更するには

カメラの IP アドレスなどを固定したい場合に変更します。

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi"(📶)アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "アクセスポイント"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 設定を変更したいアクセスポイントをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 6 "LAN 設定"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 選択したアクセスポイントを使用するときは、"使用する"をタッチします。
- アクセスポイントの登録を削除するときは、"削除する"をタッチします。

- 7 LAN の設定をする ("DHCP"が "切"の場合)
(ビデオカメラの操作)



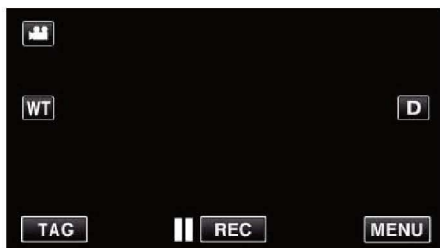
- 設定が終わったら、"OK"をタッチします。
- LAN 設定には、以下の項目があります。

DHCP	入:DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得します。 切: "IP アドレス"、"サブネットマスク"、"デフォルトゲートウェイ"、"プライマリ DNS"、"セカンダリ DNS"のを設定が必要になります。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
プライマリ DNS / セカンダリ DNS	プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

ビデオカメラの MAC アドレスを確認する

ビデオカメラの MAC アドレスを表示します。

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi"(📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "MAC アドレス"をタッチする
(ビデオカメラの操作)

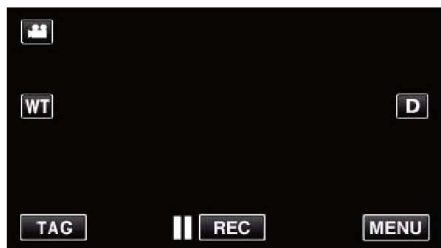


- ビデオカメラの MAC アドレスが表示されます。
(上はダイレクト接続時、下はアクセスポイント接続時の MAC アドレスです。)
- 確認が終わったら、"OK"をタッチします。

ネットワーク設定をパスワードで保護する

ロックパスワードを設定し、ネットワーク設定を保護します。

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi"(📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



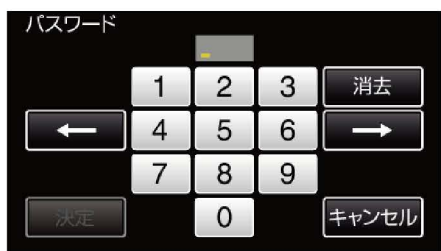
- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "設定ロック"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 任意のパスワードを登録する(4桁)
(ビデオカメラの操作)

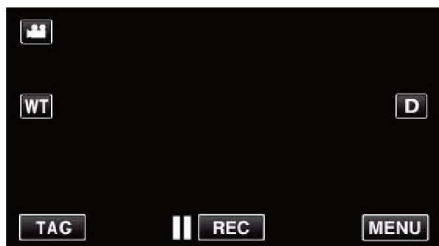


- 4桁の数字を入力してください。
- "消去"をタッチすると、文字が削除できます。
- "キャンセル"をタッチすると、終了します。
- ←や→をタッチすると、左か右にスペース1つ分、移動できます。
- 入力が終わったら、"決定"をタッチします。

無線 LAN (Wi-Fi) 設定を初期化する

無線 LAN 設定を工場出荷時の設定値に初期化します。

- 1 "MENU"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- トップメニューが表示されます。

- 2 "Wi-Fi"(📶) アイコンをタッチする
(ビデオカメラの操作)



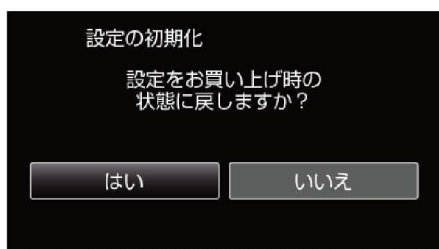
- 3 "Wi-Fi 共通設定" をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 4 "設定の初期化"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 5 "はい"をタッチする
(ビデオカメラの操作)



- 中止したいときは、「いいえ」をタッチしてください。
- 「はい」をタッチすると、ネットワーク設定が工場出荷時に初期化されます。

うまく動作しないときは

ダイレクト接続

こんなときは	ここを確認してください
カメラに接続できない	● 直接接続して遠隔操作する（ダイレクト接続）のページを参照して、再度接続してみてください。 ● パソコンの無線 LAN (Wi-Fi) の接続先が "DIRECT_**JVCCAM" になっていることを確認してください。 ● カメラとパソコンの電源を入れなおしてからお試しください。
ビデオカメラとパソコンを接続すると、パソコンからインターネットが見られなくなった	● ダイレクト接続時は、カメラがアクセスポイントとして動作します。多くのパソコンは、複数のアクセスポイントに同時に接続できません。そのため、パソコンをそれまで無線 LAN でインターネットに接続していた場合は、一時的にインターネットが見られなくなります。 ● パソコンを普段インターネットに接続している無線 LAN ルーターに接続しなおしてください。意図せずにビデオカメラに接続される場合は、ビデオカメラの接続を削除してください。（"DIRECT_**JVCCAM" という名前で登録されています） ● ビデオカメラ側でダイレクト接続を終了させてください。
電源が自動で切れた	● 電源の切り忘れを防止するため、10 日間連続で使用した場合、電源を自動的に切ります。
接続がとぎれる、または "接続できません" と表示される	● 電波環境のよいところで再度接続してください。距離が離れていたり、間に遮蔽物があったり、また電子レンジや他のワイヤレス機器を使用していると通信速度が落ちたり、接続しにくい場合があります。 ● 再接続できない場合は、パソコンを起動しなおしてください。 ● カメラとパソコンが離れているとき、環境によってはダイレクト接続では繋がりにくいことがあります。その場合、アクセスポイント（無線 LAN ルーター）を使用して接続してください。

アクセスポイント接続

こんなときは	ここを確認してください
アクセスポイント(無線 LAN ルーター)が見つからない	● アクセスポイント(無線 LAN ルーター)との距離が遠くないか、間に遮蔽物がないか確認してください。 ● お使いのアクセスポイント(無線 LAN ルーター)がステルス SSID になっている場合は、手動で登録するか、一旦アクセスポイント(無線 LAN ルーター)のステルスを無効にしてから登録してください。 ● アクセスポイントが複数ある環境では、検索しても見つからないことがあります。その場合は手動でアクセスポイントを追加してください。
アクセスポイント(無線 LAN ルーター)に接続できない	● パスワードが間違っていないか確認してください。 ● 手動接続の場合、SSID や認証方式に間違いがないか確認してください。
どのアクセスポイント(無線 LAN ルーター)が自分のものかわからない	● アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の設定をお買い上げの状態から変えていない場合は、以下を確認してください。 ・アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の本体に初期設定を記載したシールが貼られていないか確認してください。 ・アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の取扱説明書に、初期設定が記載されていないか確認してください。
アクセスポイント(無線 LAN ルーター)のパスワードがわからない	お使いのアクセスポイント(無線 LAN ルーター)の取扱説明書を確認してください。
簡単接続で接続できない	● アクセスポイントに搭載された WPS 以外の簡単接続方式とは互換性がありません。お使いのアクセスポイントに WPS が搭載されていない場合は、アクセスポイントを検索して接続してください。 ● いったんカメラの電源を切ってやりなおしてください。
カメラに接続できない	● アクセスポイント経由で遠隔操作する（アクセスポイント接続）のページを参照して、再度接続してみてください。 ● カメラとパソコンが同じアクセスポイントに繋がっているか確認してください。 ● カメラとパソコンの電源を入れなおしてからお試しください。
電源が自動で切れた	● 電源の切り忘れを防止するため、10 日間連続で使用した場合、電源を自動的に切ります。
接続がとぎれる、または "接続できません" と表示される	● 電波環境のよいところで再度接続してください。距離が離れていたり、間に遮蔽物があったり、また電子レンジや他のワイヤレス機器を使用していると通信速度が落ちたり、接続しにくい場合があります。 ● 再接続できない場合は、パソコンを起動しなおしてください。

無線 LAN 仕様

無線 LAN (Wi-Fi) 機能全般

項目	内容
無線 LAN 規格	IEEE802.11b/g/n (2.4GHz 帯)
無線 LAN セキュリティ	暗号化方式: WEP、WPA、WPA2 ※WPA、WPA2 はパーソナルモード(PSK)にのみ対応しています。

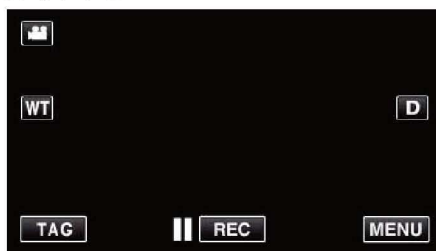
メニュー操作のしかた

- トップメニュー:
動画/静止画の撮影、再生に関する項目を表示します。

トップメニューの操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。
- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

2 設定したいメニューをタッチする



3 設定したい項目をタッチする



メモ:

- 前/次のメニューを表示するとき
◀または▶をタッチする
- 設定を終了するとき
×(終了)をタッチする

残量時間を確認する(インフォ)

SD カードに記録できる動画の残量時間を確認できます。

撮影設定メニュー(動画)



※()内は撮影ダイヤルの位置

フォーカスアシスト(P、A、S、M、U、SCNのみ)

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。
"フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (p. 40)

アシストカラー(P、A、S、M、U、SCNのみ)

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

ホワイトバランス(P、A、S、Mのみ)

光源に合わせて、色合いを調節できます。
"ホワイトバランスを設定する" (p. 41)

テレマクロ(P、A、S、M、Uのみ)

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。
"接写で撮影する" (p. 42)

ゼブラ(P、A、S、M、Uのみ)

指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様(ゼブラパターン)を表示します。
"白飛びした場所を確認する(ゼブラ機能)" (p. 43)

タッチ優先AE／AF (のみ)

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
"被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先AE／AF)" (p. 36)

ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

設定	内容
切	ライトを点灯しません。
オート	周囲が暗いとき、自動的に点灯します。
入	ライトを常に点灯します。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。
"手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)

感度アップ(P、A、S、Mのみ)

暗いところで自動的に明るく調節します。

設定	内容
切	明るさを調節しません。
+6dB	暗い所で明るさを少し明るく調節します。(+6dB)
+12dB	暗い所で明るさを明るく調節します。(+12dB)
+18dB	暗い所で明るさをかなり明るく調節します。(+18dB)

設定メニュー

A G C	1/60 までのシャッタースピードで、明るさを補正します。
オート	シャッタースピード(1/30 まで)を遅くし、明るさを補正します。

メモ：――

- "オート"は "A G C"より明るくなりますが、被写体の動きが不自然になることがあります。
- USER ダイヤルを使って "感度アップ"を設定することもできます。

"U:よく使う機能の設定値を保存する(ユーザー設定)" (p. 38)

ウィンドカット

風の音を低減します。

設定	内容
切	低減しません。
入	低減します。

グリッド

被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

設定	内容
切	グリッドを表示しません。
入	グリッドを表示します。

スマイルショット(のみのみ)

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

設定	内容
切	笑顔を検出しません。
入	笑顔を検出すると、自動的に静止画を撮影します。

メモ：――

- 人物の顔は最大 16 人まで検出します。スマイル度(%)の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に 3 つまで表示します。
- 撮影状況(距離、角度、明るさなど)や被写体の状態(顔の向き、笑顔の度合いなど)によって、正しく動作しないことがあります。また、逆光のときは笑顔の検出が難しくなります。
- 一度笑顔を撮影すると、次の撮影を行うまでに時間がかかります。
- 以下のような状況では、"スマイルショット"が動作しません。
 - メニューが表示されているとき
 - 残量時間が表示されているとき
 - "お楽しみ撮影"のいずれかを設定しているとき

スマイル%(のみのみ)

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

設定	内容
切	顔を検出すると顔枠のみを表示します。
入	顔を検出すると顔枠、スマイル度(%)を表示します。

メモ：――

- 人物の顔は最大 16 人まで検出します。スマイル度(%)の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に 3 つまで表示します。
- 撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。

動画画質

動画画質を設定します。

設定	内容
MP4 1080p	解像度 1920x1080 で、撮影します。
MP4 720p	解像度 1280x720 で、撮影します。
MP4 360p	解像度 640x360 で、撮影します。

メモ：――

- 残量時間表示からも、動画画質を変更できます。
変更したい"動画画質"をタッチしてください。
- 長時間の連続撮影では、自動的に最大 4GB、または 30 分ごとのファイルに分割されます。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

設定	内容
10 倍光学	1～10 倍の光学ズームで撮影できます。デジタルズームを使いたくないときに設定してください。
16(14)倍ダイナミック	1080p 画質で手ぶれ補正が切のときは、最大 16 倍までのダイナミックズームで撮影できます。 1080p 画質で手ぶれ補正が切以外のときは、最大 14 倍までのダイナミックズームで撮影できます。
64 倍デジタル	1～10 倍の光学ズーム、および 11～64 倍のデジタルズームで撮影できます。

メモ：――

- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
- 手ぶれ補正を入 / 切すると画角が変わります。

USER ダイヤル

シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、感度アップの設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにします。
"U:よく使う機能の設定値を保存する(ユーザー設定)" (p. 38)

ズームマイク

ズームマイクを設定します。

設定	内容
切	ズームマイク機能を使いません。
入	ズーム操作に合わせて、指向性のある音声を記録できます。

マイクレベル表示

"マイクレベル表示"が赤くならないように調節してください。

設定	内容
切	マイク入力レベル表示をしません。
入	マイク入力レベル表示をします。

マイクレベル設定

マイクレベルを設定します。
"マイクレベル表示"が赤くならないように調節してください。

設定	内容
+2	マイクの入力レベルを上げます。
+1	マイクの入力レベルを少し上げます。
0	マイクの入力レベルを変更しません。
-1	マイクの入力レベルを少し下げます。
-2	マイクの入力レベルを下げます。
OFF	音声が記録されません。

ヘッドホン音量調整

接続するヘッドホンの音量を設定します。

- 音量を大きくしたいときは、タッチパネルの+をタッチします。
- 音量を小さくしたいときは、タッチパネルの-をタッチします。

再生時にヘッドホンの音量を調節するには：

- 音量を大きくしたいときは、T側にズームレバーを倒してください。
- 音量を小さくしたいときは、W側にズームレバーを倒してください。

K2テクノロジー

デジタル信号処理による音質劣化を改善し、原音に近い音質で記録します。

設定	内容
切	K2テクノロジーを使用しません。
入	K2テクノロジーを使用します。

お楽しみ撮影メニュー(動画)



フレームインREC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を検出して、自動的に撮影します。

"動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (p. 47)

日時表示記録

動画に撮影した日付や時間を記録して撮影できます。

日時を表示させてディスクなどに保存したいときに設定します。

(記録された日時は後から消す事はできません。)

"動画に撮影日時を記録して撮影する" (p. 50)

撮影設定メニュー(静止画)



※()内は撮影ダイヤルの位置

フォーカスアシスト(P、A、S、M、U、SCNのみ)

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

設定	内容
切	フォーカスアシスト機能を使いません。
入	フォーカスアシスト機能を使います。

アシストカラー(P、A、S、M、U、SCNのみ)

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

ホワイトバランス(P、A、S、Mのみ)

光源に合わせて、色合いを調節できます。
"ホワイトバランスを設定する" (p. 41)

テレマクロ(P、A、S、M、Uのみ)

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。
"接写で撮影する" (p. 42)

タッチ優先AE／AF(のみのみ)

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
"被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先AE／AF)" (p. 36)

フラッシュ

フラッシュを設定します。

設定	内容
切	フラッシュを発光しません。
オート	周囲が暗いときは、自動的にフラッシュを発光します。
オート赤目	フラッシュをプリ発光して赤目を軽減します。
入	フラッシュを必ず発光します。
スローシンクロ	フラッシュを必ず発光し、シャッタースピードを遅くして、人物と背景を明るく撮影します。

メモ：—
● 撮影ダイヤルをA、Mにしたときに露出を低く設定していると、フラッシュを発光しても適正な明るさにならない場合があります。

警告
● フラッシュ発光部、AF補助光は至近距離(数 cm)で人の目に向けないでください。 ● 直接見ないでください。 ● 誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。 ● 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。 ● 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故の原因となります。

ご注意：—
● フラッシュ発光部、AF補助光を被写体へ至近距離(数 cm)で発光させないでください。
● 直接手で触らないでください。

- ゴミなど異物が付いたまま使わないでください。
- テープなどでふさがないようにください。
- やけどの原因になることがあります。
- 発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
- 発光直後は、しばらく触らないでください。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

"記念写真を撮影する(セルフタイマー)" (p. 48)

設定	内容
切	セルフタイマー機能を使いません。
2 秒	2 秒後にシャッターが切れます。スナップショットボタンを押すときの手ぶれの心配がありません。
10 秒	10 秒後にシャッターが切れます。スナップショットボタンを押すときの手ぶれの心配がありません。
顔検出	人物が画像に入ったときにシャッターが切れます。

メモ：

- セルフタイマー動作中はセルフタイマーランプが点灯します。

ISO 感度(P,A,S,M,Uのみ)

被写体の明るさに応じて ISO 感度を設定します。

設定	内容
オート	自動で ISO レベルが設定されます。
ISO50	ISO50 に設定されます。
ISO100	ISO100 に設定されます。
ISO200	ISO200 に設定されます。
ISO400	ISO400 に設定されます。
ISO800	ISO800 に設定されます。
ISO1600	ISO1600 に設定されます。
ISO3200	ISO3200 に設定されます。
ISO6400	ISO6400 に設定されます。

メモ：

- USER ダイヤルを使って "感度アップ"を設定することもできます。

"U:よく使う機能の設定値を保存する(ユーザー設定)" (p. 38)

手ぶれ補正

静止画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

"手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)

スマイルショット(☺のみ)

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

設定	内容
切	笑顔を検出しません。
入	笑顔を検出すると、自動的に静止画を撮影します。

メモ：

- 人物の顔は最大 16 人まで検出します。スマイル度(%)の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に 3 つまで表示します。
- 撮影状況(距離、角度、明るさなど)や被写体の状態(顔の向き、笑顔の度合いなど)によって、正しく動作しないことがあります。また、逆光のときは笑顔の検出が難しくなります。
- 一度笑顔を撮影すると、次の撮影を行うまでに時間がかかります。
- 以下のような状況では、"スマイルショット"が動作しません。
 - メニューが表示されているとき
 - 残量時間が表示されているとき
 - "お楽しみ撮影" のいずれかを設定しているとき

スマイル% (📷のみ)

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

設定	内容
切	顔を検出すると顔枠のみを表示します。
入	顔を検出すると顔枠、スマイル度(%)を表示します。

- メモ：――
- 人物の顔は最大 16 人まで検出します。スマイル度(%)の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に 3 つまで表示します。
 - 撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

設定	内容
1920x1080(2M)	画面比「16:9」の静止画を撮影します。 16:9 の静止画をお店などでプリントすると、両端が切られることがあります。
4000x3000(12M) 2816x2112(5.9M) 2048x1536(3.1M) 640x480(0.3M)	画面比「4:3」の静止画を撮影します。

グリッド

被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

USER ダイヤル

シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ISO 感度の設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにします。
"U:よく使う機能の設定値を保存する(ユーザー設定)" (📖 p. 38)

お楽しみ撮影メニュー(静止画)



フレームインREC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)を検出して、自動的に撮影します。

"動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (p. 47)

再生設定メニュー(動画)



日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。
"目的の映像を撮影日から探す" (p. 60)

静止画切り出しタイプ

動画から静止画を切り出すときのタイプを選びます。

項目	内容
1コマ	静止画を1枚撮ります。
9コマ連続	静止画を9枚連写します。
9マルチ	静止画を9枚連写し、1枚の静止画としてマルチ表示します。

静止画切り出し間隔

動画からの静止画を連続で切り出すときの間隔を設定します。

項目	内容
2フレーム	2フレームの間隔で切り出します。
4フレーム	4フレームの間隔で切り出します。
8フレーム	8フレームの間隔で切り出します。
15フレーム	15フレームの間隔で切り出します。
30フレーム	30フレームの間隔で切り出します。

日時表示

動画の再生中に日時を表示するか設定します。

設定	内容
切	再生時に日時を表示しません。
入	再生時に日時を表示します。

編集メニュー(動画)



プロテクト／解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (F3 p. 66)

"選んで保護する/選んで保護を解除する" (F3 p. 66)

トリミング

動画の必要な部分だけを切り出して、新しい動画として保存できます。

編集した元の動画は、そのまま残ります。

"動画を必要な部分だけにする(トリミング)" (F3 p. 68)

再生設定メニュー(静止画)



日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

"目的の映像を撮影日から探す" (p. 60)

編集メニュー(静止画)



プロテクト／解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (F6 p. 66)

"選んで保護する/選んで保護を解除する" (F7 p. 66)

セットアップ(動画／静止画共通)



時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。
"時計を合わせる" (p. 20)
"時差のある地域で使うとき" (p. 25)
"旅行先がサマータイムのとき" (p. 26)

日付表示配列

年月日の並び順と時間表示(24h／12h)を設定します。

並び順	時間表示
月. 日. 年	12h
年. 月. 日	24h
日. 月. 年	-

LANG.／言語

メニューなどで表示する言語を設定します。
日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)/韓国語に対応しています。
"表示言語を変更する" (p. 22)

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

設定	内容
オート	屋外では "4"に、屋内では "3"に、自動的に切り換わります。
4	画面を常に明るくしたいときに設定します。
3	標準の明るさ設定です。
2	画面を常に暗くしたいときに設定します。
1	一番暗い設定です。 バッテリーの消費を抑えたいときに設定します。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

設定	内容
切	操作音を消します。
入	操作音を鳴らします。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。

設定	内容
切	5 分放置しても電源が切れません。
入	5 分放置すると、自動的に電源が切れます。

メモ：—

- バッテリー使用時は、5 分間放置すると自動的に電源が切れます。
- AC アダプター使用時は、待機状態になります。

高速起動

5 分以内に電源を入れると、すぐに起動できます。

設定	内容
切	高速起動しません。
入	5 分以内に電源を入れると、すぐに起動できます。

タッチパネル調整

タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置を調整します。

"タッチパネルの調整をする" (p. 17)

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

オープンソースライセンス(撮影時のみ)

本機で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。

出力設定(動画／静止画共通)



テレビ表示

テレビに、アイコンや日時を表示できます。

設定	内容
切	テレビにアイコンや日時を表示しません。
入	テレビにアイコンや日時を表示します。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせて画面比(16:9 または 4:3)に設定します。

設定	内容
4 : 3	従来型のテレビ(4:3)に接続するときに設定します。
1 6 : 9	ワイドテレビ(16:9)に接続するときに設定します。

HDMI 出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。

設定	内容
オート	通常は "オート" に設定します。
4 8 0 p	"オート" で正常に表示されないとき設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

設定	内容
切	連動しません。
入	連動します。

メディア設定(動画／静止画共通)



SDフォーマット

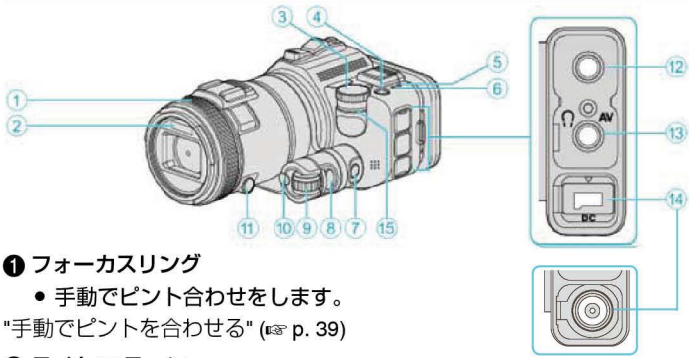
SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。

設定	内容
ファイル	SD カードのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	SD カードのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

で注意：

- SD カードが入っていないときは選べません。
- フォーマットすると、SD カード内のデータはすべて消えます。
フォーマットする前に、SD カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
- フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

本体前面



① フォーカスリング

- 手でピント合わせをします。

"手動でピントを合わせる" (p. 39)

② ライト/フラッシュ

- 暗い場所で撮影するときは、ライトを点灯しましょう。

"ライト" (p. 93)

- 静止画を撮影するときは、必要に応じてフラッシュの設定をしましょう。

"フラッシュ" (p. 98)

③ 撮影ダイヤル

"設定を変えて撮影する" (p. 34)

④ (電源) ボタン

⑤ ACCESS(アクセス)ランプ

- 記録中や再生中などに点灯/点滅します。
バッテリーや AC アダプター、SD カードは取りはずさないでください。

⑥ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ

- 点灯: 電源「入」
- 点滅: 充電中
- 消灯: 充電完了

⑦ TIME CONTROL ボタン

⑧ EXPOSURE ボタン

⑨ 調節ダイヤル

⑩ SET ボタン

⑪ FOCUS ボタン

⑫ EXT. PORT 端子

- スポーツセンシング社製無線ユニットを接続するときに使用します。

⑬ AV 端子/ヘッドホン端子

- テレビなどの AV 端子と接続するときに使用します。
- 別売のヘッドホンを接続するときに使用します。

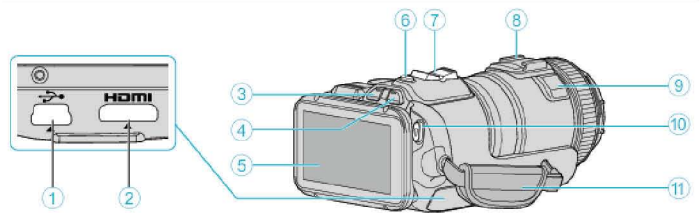
⑭ DC 端子

- AC アダプターとつないで充電をします。

⑮ セルフタイマーランプ

- 動画記録中、セルフタイマーの時に点灯します。

本体後面



① USB 端子

- USB ケーブルを使ってパソコンとつなぎます。

② HDMI ミニ端子

- HDMI ミニケーブルを使ってテレビとつなぎます。

③ 再生/撮影切換ボタン

④ 静止画/動画(動画/静止画) ボタン

⑤ 液晶モニター

⑥ SNAPSHOT(静止画撮影) ボタン

- 静止画を撮影します。

⑦ ズーム/音量レバー

- 撮影中: 撮影の範囲を調節できます。
- 再生中(一覧表示): 前または後ろのページに移動します。
- 動画再生中: 音量を調節します。

⑧ シュー

- スポーツセンシング社製無線ユニットを取り付けま

⑨ ステレオマイク

- 動画の撮影中に、マイクを指などでふさがないようにしてください。

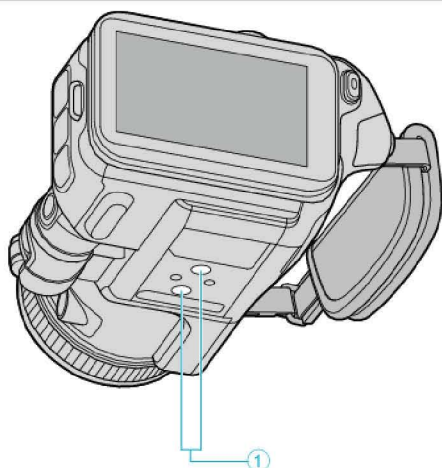
⑩ START/STOP(動画撮影) ボタン

- 動画の撮影を開始/停止します。

⑪ グリップベルト

- グリップベルトに手を通して、しっかりと固定します。

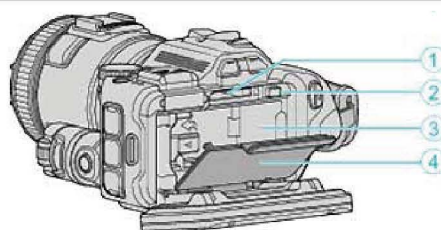
本体底面



① 三脚取り付け穴

"三脚の取り付けかた" (☞ p. 23)

本体内側



① SD カードスロット

- 別売の SD カードを入れてください。

② バッテリーロックレバー

"バッテリーの取りはずしかた" (☞ p. 13)

③ バッテリー挿入部

"バッテリーを充電する" (☞ p. 13)

④ バッテリーカバー

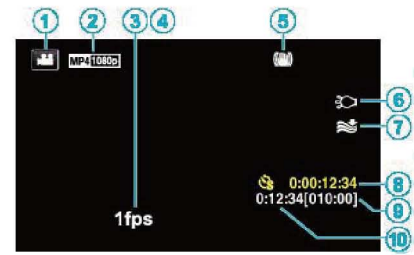
"バッテリーを充電する" (☞ p. 13)

撮影共通



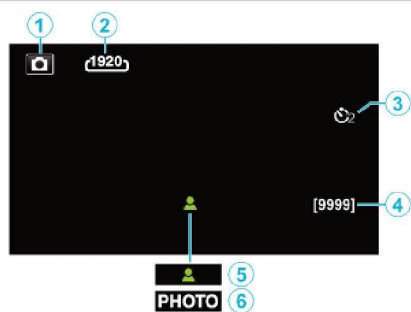
- ① タッチ優先AE／AF**
"被写体を自動追尾して撮影する(タッチ優先AE／AF)" (p. 36)
- ② フレームイン REC**
"動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (p. 47)
- ③ テレマクロ**
"接写で撮影する" (p. 42)
- ④ ホワイトバランス**
"ホワイトバランスを設定する" (p. 41)
- ⑤ 時刻**
"時計を合わせる" (p. 20)
- ⑥ スマイルショット**
"スマイルショット(☺のみ)" (p. 94)
- ⑦ SD カード**
- ⑧ バッテリー残量**
- ⑨ 連写**
"連写する" (p. 34)
- ⑩ 撮影モード**
"動画をオートで撮影する" (p. 27)
- ⑪ インテリジェントオートの設定シーン**
 - インテリジェントオートで自動的に設定されるシーンをあらしめます。複数のシーンが設定される場合があります。
- "インテリジェントオートのシーン" (p. 28)
- ⑫ シーンセレクト**
"場面(被写体)に合わせて撮影する" (p. 35)
- ⑬ ズーム倍率**
"ズーム倍率" (p. 95)
- ⑭ マイクレベル表示**
"マイクレベル表示" (p. 96)
- ⑮ フォーカス**
"手動でピントを合わせる" (p. 39)
- ⑯ 絞り優先AE**
"手動で調節して撮影する" (p. 37)
- ⑰ 明るさ補正**
"手動で調節して撮影する" (p. 37)
- ⑱ シャッタースピード**
"手動で調節して撮影する" (p. 37)

動画撮影



- ① 動画モード**
 - 動画と静止画を切り換えます。
- ② 動画画質**
"動画画質" (p. 95)
- ③ タイムラプス撮影**
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (p. 46)
- ④ 高速撮影**
"スローモーションを撮影する(高速撮影)" (p. 45)
- ⑤ 手ぶれ補正**
"手ぶれを補正して撮影する" (p. 43)
- ⑥ ライト**
"ライト" (p. 93)
- ⑦ ウィンドカット**
"ウィンドカット" (p. 94)
- ⑧ タイムラプス撮影カウンタ**
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (p. 46)
- ⑨ 撮影可能時間**
"残量時間を確認する" (p. 51)
- ⑩ シーンカウンタ**

静止画撮影



① 静止画モード

- 動画と静止画を切り換えます。

② 静止画サイズ

"静止画サイズ" (p. 100)

③ セルフタイマー

"記念写真を撮影する(セルフタイマー)" (p. 48)

④ 撮影可能枚数

"静止画の撮影可能枚数目安" (p. 53)

⑤ ピント合わせ

⑥ 静止画記録中

動画再生



① 動画モード

- 動画と静止画を切り換えます。

② 動画画質

"動画画質" (p. 95)

③ 操作表示

"動画再生の操作ボタン" (p. 56)

④ 日付と時刻

- 記録日時を表示します。

⑤ SD カード

⑥ バッテリー残量

⑦ 再生時間

⑧ タイムラプス再生

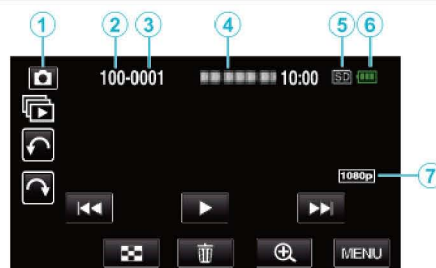
"タイムラプス撮影の設定内容" (p. 46)

⑨ 1080p 出力

"HDMI 出力" (p. 108)

⑩ シーンカウンタ

静止画再生



① 静止画モード

- 動画と静止画を切り換えます。

② フォルダ番号

③ ファイル番号

④ 日付と時刻

- 記録日時を表示します。

⑤ SD カード

⑥ バッテリー残量

⑦ 1080p 出力

"HDMI 出力" (p. 108)

日ごろのお手入れ

本機を未永くお使い頂くためにお手入れをおすすめします。

ご注意：

- お手入れの前に、バッテリーや AC アダプター、電源プラグをはずしてください。

本体

- 乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ります。
- 汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取ります。

ご注意：

- 損傷や故障の原因となりますので、ベンジンやシンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。
- 化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズ・液晶画面

- 市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭いてください。
汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因となります。
- 市販の反射防止フィルムや保護フィルムなどをお使いになれます。
ただし、フィルムの厚みなどによっては、タッチパネルがスムーズに動かなくなったり、多少画面が暗くなることがあります。

カメラ本体

項目	内容
電源	AC アダプター使用時:DC 12 V バッテリー使用時:DC 7.2 V
消費電力	4.6 W(モニター明るさ:3(標準)) 4.9 W(モニター明るさ:4(明るい)) 定格消費電流:2 A
外形寸法(mm)	110 x 76 x 183 (幅 x 高さ x 奥行き:グリップベルト、突起部を含まず)
質量	約 500 g(本体のみ)、 約 585 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0°C ~ 40°C 許容保存温度:-20°C ~ 50°C 許容相対湿度:35 % ~ 80 %
映像素子	1/2.3 型 1276 万画素(裏面照射 CMOS)
撮像エリア(動画)	MP4 1080p モード 207 万 ~ 540 万画素(手ぶれ補正:切、ダイナミックズーム:入) MP4 720p/360p モード 92 万 ~ 357 万画素(ダイナミックズーム:入)
撮像エリア(静止画)	443 ~ 594 万画素(4:3)(手ぶれ補正:切) 207 ~ 541 万画素(16:9)(手ぶれ補正:切)
レンズ	F1.2 ~ F2.8, f= 3.76 mm ~ 37.6 mm 動画 (MP4 1080p モード) 35mm カメラ換算:29.5mm ~ 476mm(ダイナミックズーム:入、手ぶれ補正:切) 35mm カメラ換算:29.5mm ~ 342mm(ダイナミックズーム:切、手ぶれ補正:切) 動画 (MP4 720p/MP4 360p モード) 35mm カメラ換算:36.3mm ~ 715mm(ダイナミックズーム:入、手ぶれ補正:切) 35mm カメラ換算:36.3mm ~ 406mm(ダイナミックズーム:切、手ぶれ補正:切) 静止画 35mm カメラ換算:29.8mm ~ 298mm(4:3)(手ぶれ補正:切) 35mm カメラ換算:34.4mm ~ 344mm(16:9)(手ぶれ補正:切)
最低照度	10 ルクス(感度アップ:入) 1 ルクス(感度アップ:スローシャッター) 1 ルクス(シーンセレクト:ナイトアイ)
ズーム(動画撮影時)	光学ズーム: ~ 10 倍 ダイナミックズーム: ~ 16 倍(手ぶれ補正:切) デジタルズーム: ~ 64 倍
ズーム(静止画撮影時)	光学ズーム: ~ 10 倍
液晶画面	3 型ワイド、46 万画素、カラー液晶
記録メディア	SD/SDHC/SDXC カード(市販) "本機で使える SD カードの種類"(p.15)
時計用電池	二次電池

端子

項目	内容
HDMI 出力端子	HDMI ミニ端子
AV 出力端子	ビデオ出力:1.0 V(p-p)、75 Ω 音声出力:300 mV(rms)、220 Ω
USB 端子	ミニ USB AB タイプ

動画 (MP4)

項目	内容
録画/再生方式	映像: MPEG-4 AVC/H.264(MP4) 音声: AAC(2ch)
拡張子	.MP4
信号方式	NTSC 日米標準信号方式
画質(動画)	MP4 1080p 1920 ピクセル x 1080 ピクセル 最大 36 Mbps 平均 約 35 Mbps MP4 720p 1280 ピクセル x 720 ピクセル 最大 16 Mbps 平均 約 12 Mbps MP4 360p 640 ピクセル x 360 ピクセル 最大 5 Mbps 平均 約 4 Mbps
音質(音声)	MP4 1080p/MP4 720p/MP4 360p/無線 LAN 使用時 48 kHz、平均 128 kbps

静止画

項目	内容
記録方式	JPEG 準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	"静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)" (p. 53)

AC アダプター

項目	内容
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 12 V、2 A
許容動作温度	0°C ~ 40°C (充電時は 10°C ~ 35°C)

バッテリー(BN-VF815)

項目	内容
電圧	7.2 V
容量	1460 mAh
外形寸法(mm)	30.5 x 33 x 52 (幅×高さ×奥行き)
質量	約 85 g

メモ : _____

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。